

■ **特集**：クラウドベースのセキュリティ監視

■ **製品特集**：POSと映像の統合

■ **業種別市場**：競技場

ネットカムシステムズの新たな3つのソリューション!!!

●進化型VMSソリューション

●超小型モニタリングユニットソリューション

●PCレス録画ユニットソリューション



KxViewProVer4



コンパクトサイズ 幅11.8cm、高さ5.6cm

SiView



KxViewRecorder



i-PRO
SmartHD

9メガピクセル 360°全方位ネットワークカメラ 薄型・コンパクトで高解像度、多彩な映像配信モードを搭載。

アイプロシリーズ

9M 全方位ネットワークカメラ

WV-SFV481 本体希望小売価格 290,000円(税抜)

WV-SFN480 本体希望小売価格 230,000円(税抜)



WV-SFV481



WV-SFN480



周辺部まで高画質



セキュリティ商品・システム情報をパナソニックのホームページでご覧いただけます。

監視・防犯システム

検索

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>
i-PRO SmartHDスマートフォン用サイトは右記QRコードからアクセスできます

パナソニック システムネットワークス株式会社 セキュリティシステム事業部
〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島4丁目1番62号



0120-878-410

受付：9時～17時30分
(土・日・祝祭日は受付のみ)

携帯電話・PHSからもご利用いただけます(お問合せの内容によっては、担当窓口をご案内する場合がございます)。





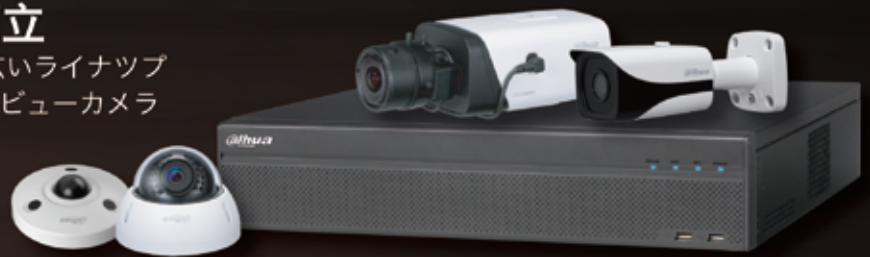
4K

a4dable + komprehensive

Ultra Display Performance & Decoding Ability

4Kの高解像度と高感度を両立

ハイエンドクラスからエントリーモデルの幅広いラインナップ
IR(赤外線)、IP67、IK10対応 360° サラウンドビューカメラ
4K対応 8CH~128CH NVR



12M全方位カメラ・4K対応NVRで台湾 Secutech Excellence Award 2015 受賞致しました。
*(DH-IPC-EBW81200 DH-NVR616DR-128-4K)

CE FC CCC UL ISO 9001:2000



DAHUA TECHNOLOGY CO., LTD.

No.1199 Bin'an Road, Binjiang District, Hangzhou, China. 310053
Tel: +86-571-87688883 Fax: +86-571-87688815
Email: overseas@dahuatech.com
www.dahuasecurity.com

DAHUA社日本正規代理店
三星ダイヤモンド工業株式会社
〒566-0034大阪府摂津市香露園32-12
Tel: 072-648-7526 Fax: 072-648-7582
URL: <http://www.mitsuboshidiamond.com>

MDI
Imaging Technology



表紙解説	
ネットカムシステムズの新たな 3つのソリューション	6-7

特集	
クラウドベースのセキュリティ監視	20

製品特集	
POSと映像の統合	26

業種別市場	
競技場	32

連載	
市場慧眼 よくわかるIPネットワーク	38
SMAHome 恩恵をもたらすプラットフォーム	40

キーマン・インタビュー	
ネットカムシステムズ杉原和幸社長に聞く	8-9
MILESTONE SYSTEMS社ベンジャミン・ロウ氏	18

イベント情報	
GDSF JAPAN 2015直前情報	48
展示会、プライベートショー日程	52

導入事例	
セキュア	53

新製品情報	
アクシスコミュニケーションズ	55
ADLINK	58
DAHUA TECHNOLOGY	57
ハイテクインター	54
店舗プランニング (CNB社)	56
VIVOTEK	58
ジーニック	57

新製品欄	
CCTV、入退管理、その他	59

産業ニュース 10、12、14、16

読者の声 60

HD-SDI, EX-SDI, HDMI, TVI, AHD, CVI, VGA

マルチ入力対応 工事用ミニモニター



SC-MFM07VP

• 様々な入力支援

- 1) HD-SDI入力支援 (~3G)
- 2) EX-SDI入力支援
- 3) HDMI入力支援 (~1080P 60Hz)
- 4) VGA入力支援 (~1600 X 1200/60Hz) UXGA
- 5) CVBS入力支援
- 6) アナログHD支援 (AHD, CVI, TVI)

- 7"の高解像度TFT-LCDのDigital Panel適用 (LED Back Light)
- DC-12V / 500mA 以下のカメラ電源供給機能 (専用ハーネス提供)
- カメラの画角設定用のガイドライン表示
- RS-485の通信方式とPTZ制御機能
- アナログHD、CVBS Coax通信支援
- Audio Line入力、出力支援
- 大容量の内蔵バッテリーで最大8時間使用可能

SeeEyes 製品のお問い合わせは

TP TENPO PLANNING 株式会社 店舗プランニング

関西支店 仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 福岡営業所 技術センター

東京本社

販売代理店募集中

〒151-0061 東京都渋谷区初台 1-46-3 シモトビル2階
TEL 03-3378-4901 FAX 03-3378-4906 www.tenpo.co.jp

広告主名 (ABC順)	掲載ページ
AVIGILON	11
ボッシュセキュリティシステムズ	13
DAHUA TECHNOLOGY CO. LTD.,	1
DYNACOLOR JAPAN	15
フリーアシステムズジャパン	5
ジャバテル	39
ハイテクインター	19
IBS JAPAN	17
ネットカムシステムズ	表一、6-7
パナソニックシステムネットワークス	表二
SEEEYES CO. LTD.,	3
サンシステムサプライ	表四
店舗プランニング	31、37
VIVOTEK	25

次号案内

2015年 11 / 12月号 (11月10日発行予定)

特集

保守点検と保証

製品特集

安全都市実現の技術

業種別市場

多国籍企業のセキュリティ

連載

市場慧眼、SMAhome

(誌面の都合上、変更になることがあります)

a&sJAPAN

©ASJ社 2015年 9-10月号 No.48

The Professional Magazine Providing Total Security Solutions

発行人 小森堅司 印刷 八洲 DTP サンフィール

a&sJAPANは、Messe Frankfurt New Era Media発行のa&s International、a&sAsiaをはじめとするa&s各誌の独占翻訳権を特約して、発行するセキュリティ国際情報誌です。

ASJ合同会社

Advanced Security Journal LLC

東京都千代田区神田須田町1-7-1ウィン神田ビル10階 〒101-0041

電話：03-6206-0448 FAX：03-6206-0452

■広告に関するお問い合わせは
E-mail：komori@asj-corp.jp

■購読に関するお問い合わせは
E-mail：reader@asj-corp.jp

■記事情報提供に関するお問い合わせは
E-mail：info@asj-corp.jp

■DM代行サービスおよび電子メール配信サービス
当社では、企業の依頼によりDMまたは電子メールで情報をお届けすることがあります。これらのサービスでは、読者の皆様の個人情報を当該企業には一切公開していません。

24時間体制で 抜群の検知能力



FLIR TCX™

ミニレット型サーマルカメラ



掲載された画像は参照用で、ここで示したカメラで撮影されたものとは限りません。
©2015 FLIR Systems, Inc.

動くものを正確に検知する
TCXをご利用いただくと

- 動くものを正確に検知して間違った警報を削減します
- 侵入検知・映像警報照合システムがリーズナブルな価格で利用できます
- PoE/12VDC、IP/MPX(HDCV1)/analog、ONVIFが簡単に組み込めます

詳細はwww.flir.com/isc-west-dailiesで。

フリアーシステムズジャパン株式会社
〒141-0021
東京都品川区上大崎2-13-17
目黒東急ビル5階
電話：03-6721-6648
FAX：03-6721-7846
e-mail：info@flir.jp



The World's **Sixth Sense**™

ネットカムシステムズの 新たな3つのソリューション!

進化型 VMS(KxViewProVer4) の新機能、
超小型モニタリングユニット (SiView)、
PC レス録画ユニット (KxViewRecorder) の運用活用例をご紹介します。

①KxViewProVer4

【魚眼展開再生機能】

各メーカー魚眼カメラ(Axis、Panasonic、SONY、GANZ)を平面/
パノラマ/4分割の展開録画再生が可能。

【運用活用例】

侵入者の動きに合わせてマウスカーソルによる平面追っかけ再生
が可能!

また、ライブ画面による展開も可能の為、あたかも定点カメラを
設置しているような目視の確認が出来ます。



魚眼カメラ録画データ平面再生画面



外部機器連携設定画面

【外部機器連携機能】

DIO接点BOXを利用した外部機器連携制御、カメラI/Oポート/動
体検知を利用した多彩なアクション設定が可能です。

また、従来通りのパトライト連携、リポータによるハートビート死
活監視が可能となっております。

【運用活用例】

赤外線センサに連動したプリセット移動、録画開始、警告ポップ
アップ表示、照明機器の点灯等などが可能。

また、カメラ故障・HDD故障をトリガーとしたパトライト点灯制
御も可能。

【マルチ再生機能】

4画面同時マルチ再生が容易に可能です。

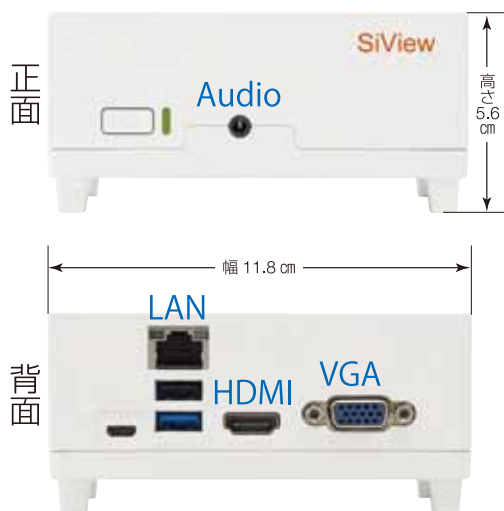
【運用活用例】

時刻の同期もされている為、それぞれ設置したカメラの同時刻
録画映像が確認可能であり、全体的な状況把握が瞬時に可能。



マルチ再生 (4画面同時再生) 画面

②SiView



【超小型モニタリングユニット】

- ①極小 手のひらサイズの簡単モニタリングユニット
- ②設定時にカメラを自動検出
- ③カメラは最大160 台まで登録可能
- ④画面分割やスイッチング機能付き
- ⑤平均消費電力はわずか「8W」 ファンレス仕様で動作音「ゼロ」 ハードディスク非搭載でメンテフリー
- ⑥HDMIとVGA 出力を装備しデュアルディスプレイ対応
- ⑦ 最大フルHDの高精細表示が可能

【運用活用例】

店舗のデッドスペースに設置が出来、既存のモニタにてライブ監視が可能。また、VESA専用金具を使用し、ディスプレイ裏に設置を行う事も可能。

③KxViewRecorder

【PCLes録画装置】

- ①PCLesのため初期費用の大幅なコストダウンが可能
- ②高品質な汎用NASに搭載した一体型録画装置
- ③録画台数区分として4 台用・9 台用・16 台用モデルと HDD容量の2TB、4TB、6TB、8TBをモデルを用意!
- ④KxViewPro同様のマルチベンダーカメラ対応
- ⑤RAID 1/0の変更が可能!
- ⑥設置・設定が簡単で省スペース且つ配線のトラブルも減少
- ⑦ハードはアイ・オー・データ、ソフトはネットカムがサポートし安心の3年保証

【運用活用例】

無人且つ狭い管理人室に設置が可能であり、管理人滞在時に録画データの確認などの運用が出来ます。

また、NetCamクライアントソフトと組み合わせたクライアント⇄サーバ連携が可能。



●対応カメラ・環境、ラインナップ、お問い合わせは…



株式会社ネットカムシステムズ

U R L : <http://www.netcam.co.jp/>
E-mail : netcam@netcam.co.jp

■本社・秋葉原ショールーム

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-10-3 プライム秋葉原ビル6F
Tel: 03-5207-8591

■大阪支店

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原5-1-18 新大阪サンアールセンタービル16F
Tel: 06-4866-6431



ネットカムシステムズ、杉原和幸新社長に聞く

2015年7月、映像管理ソフトウェア(VMS)の国産企業であるネットカムシステムズは、同社VMSであるKxViewPro Ver.4を発表するとともに、ジャパンシステムの一員となり、金延純男社長が会長兼最高顧問に就任し、杉原和幸取締役が社長に就任した。そこで本誌では、杉原和幸新社長にKxViewPro Ver.4の特長と今後の同社の事業展開についてインタビューした。

【ASJ】 KxViewPro Ver.3発表から短期間でKxViewPro Ver.4を発表した最大理由は何か?

【杉原社長】 Ver.2からVer.3へのバージョン・アップでは、最新のOSに合わせてユーザ・インタフェイスを一新した。これまでに当社が培ってきたノウハウを基本としながらより使いやすくなったデザイン、全方位カメラを効果的に扱えるようにアプリケーション側での歪補正展開機能の追加、柔軟なネットワーク設計ができるよう各社カメラ・メーカーのH.264ストリームへの対応強化などを中心に、お客様から好評をいただいている。

今回Ver.4を発表した最大理由は、開発の効率化、スピードアップを図るためだ。そこで、Ver.4では、Ver.3のデザインと機能を引き継ぎながら、アーキテクチャを大幅に変更した。これにより、弊社の特長の一つだが、ユーザの要望に応じたカスタマイズが一段と対応しやすくなった点大きい。これまでに弊社では金融機関や大規模プラントなど、幅広いユーザに対応しているが、やはりそれぞれ要望が異なる。

Ver.4では、ネットワークカメラを扱うコア技術をコンポーネント化し、再利用しやすくすることで、柔軟なカスタマイズ対応ができるように設計している。これにより、時間短縮とコスト削減が可能となり、これまで以上に弊社VMSを選択して活用していただける機会が増えると考えている。

【ASJ】 KxViewPro Ver.4において、最も市場に訴求したい点はどれか?

【杉原社長】 KxViewProは、純国産のマルチベンダ対応VMSだ。市場には現在、機能面ではあまり変わらないVMSが数多く存在するが、文字や画面の見やすさ、直感で操作できるデザイン、動作スピードといったものはカタログ・スペックからではわからない。弊社は、機能やスピードはもちろんのことながら、ユーザの負担を少しでも軽くするために、わかりやすく疲れにくいユーザ・インタフェイスとデザインを考え抜いて、全てソフトウェアを自社開発している。また、個々のユーザの事情に合わせてきめ細



やかなカスタマイズも、自社で開発していればこそ可能なことだ。

KxViewProは、「使いやすい」を目指し、これからもユーザの意見を取り入れながら、今後も進化していく。言い換えれば、カスタマイズをキーワードとして進化していく。そして、VMSで困ったことがあれば、ネットカムシステムズに相談しようと評価されることを目指したい。

【ASJ】 ONVIFでなく自社独自のマルチベンダ方式を維持している理由は何か?

【杉原社長】 弊社はもともと、ONVIF対応機器が今ほど出ていない時期から、マルチベンダ対応ということでカメラ・メーカー独自のプロトコルに合わせてソフト開発してきたため、接続に関してはある程度のノウハウを持っている。もちろん、ONVIFをサポートしていないということではない。マルチベンダで各カメラ・メーカーの特長を生かしたシステム構築をしようとした場合、ONVIFだけではできないこともあり、弊社にカスタマイズを依頼

されるユーザでは、専用プロトコルが必要なケースが多いと感じている。

また、ONVIFに対応していない産業用の特殊カメラも扱うことができるのも弊社の特長だ。

【ASJ】他にバージョン・アップを予定している製品は何か？

【杉原社長】 弊社にはクラウド型の遠隔録画システム「さば録」という製品・サービスがある。クラウド・サーバ上に録画するので、ユーザは録画機器を購入して管理する必要もなく、ネットワーク環境とブラウザがあればどこからでも見ることができる。また、クラウド・サーバ上にデータを預けずに自社で運用管理したいというユーザ向けに、「さば録」サーバ・システムを販売している。

弊社は、国内で比較的早い時期から運営を開始しており、画質および価格ともに非常に好評をいただいているが、近年はユーザの接続環境も多様に変化してきているので、「さば録」について、最新のOS、ブラウザ、モバイル機器に合わせたバージョン・アップを年内に予定している。

【ASJ】現段階での貴社の主力製品は、KxViewPro Ver.4と「さば録」と理解していいのか？

【杉原社長】 現有製品ではそうだ。KxViewPro Ver.4を基幹製品として位置づけ、さらに「さば録」をクラウド・サーバ・サービスとクラウド・サーバ・システムの2つ形態で提供していく。そして、さらに新製品を開発して製品ラインナップを強化する予定だ。



【ASJ】今後の貴社の企業理念や営業方針に変更はあるのか？

【杉原社長】 ネットカムシステムズの理念は「技術で人々を幸せにすること」だ。私もこれに共感して入社しており、今後とも必ず引き継いでいく。

「企業とは人々の暮らしに役立ってこそ、存在意義がある」という思いを社員一同忘れることなく、100%自社開発のソフトウェアを次々と市場に提供し、多くのユーザに使っていただきたいと考えている。

【ASJ】金延純男会長と杉原社長との役割分担は？

【杉原社長】 ネットカムシステムズの提供する製品・サービスに関しては、私は元来開発技術者であり、今後も製品開発全般に直接関わっていく。

一方、金延会長には最高顧問として、これまで以上に国内や海外の動向や情勢を分析して次期製品開発に関するアドバイスをいただきたい。

【ASJ】ジャパンシステムのグループの一員となった理由は？

【杉原社長】 最大の理由は、当社が次のステージへ進むための重要な一歩となることだ。これは、ジャパンシステムの持つセキュリティ分野および仮想化技術と、ネットカムシステムズの持つ画像関連技術の連携および相乗効果がかかり見込めること、グループ入りによる当社の信用度向上および資本背景の充実による恩恵が見込めること、それにより、新たな市場分野を切り開き大きく進出していくことができるとの考えに基づいている。

【ASJ】ここで挙げた次のステージとは具体的には何か？

【杉原社長】 弊社の有する画像処理技術をさらに進化させて、IoT(もののインターネット)への展開に取り組みきたい。

【ASJ】IoTへの展開となると、ターゲットは日本市場だけではないのか？

【杉原社長】 将来的には、日本市場だけでなく海外市場での活動も視野に入れることになるだろう。しかし、現段階では、日本市場でより高い満足度を実感していただける製品を提供することが最重要のテーマだ。

【ASJ】今後新たな市場開拓について、貴社の目指す方向は？

【杉原社長】 まずは、ジャパンシステムとネットカムシステムズの既存の顧客に提供する製品やサービスを拡充(クロスセリング)していきながら、お互いの有する技術を組み合わせて、新たな製品・サービスを創出していく考えだ。

詳細はまだ発表段階ではないが、現在、新製品として大規模案件向けの安定稼働録画システムを共同開発している。

これ以外にも今後とも魅力的な製品を提供すると考えているので、弊社ならびに弊社製品とサービスに期待していただきたい。



ソニーモバイルとZMP、合併会社エアロセンスを設立

ソニーモバイルコミュニケーションズ(ソニーモバイル)とZMPは、自律型無人航空機による画像撮影とクラウドによる画像データの処理を組み合わせ、産業用ソリューションを開発・提供するための協業について合意し、2015年8月に新会社「エアロセンス株式会社」を設立した。

新会社は、ソニーのカメラとセンシング、通信ネットワークとロボットの分野での技術と、ZMPの自動運転とロボット技術、産業分野へのビジネス経験を活かし、測量や調査、管理や点検等の総合ソリューションを開発し、2016年より、法人に向けてサービスの提供を開始する計画。

ソニーモバイルは、新規事業の創出に向け積極的に取り組んでおり、特にIoT(Internet of Things : もののインターネット)市場を見据えた事業展開に注力していく方針。本事業も、その一環としてクラウドサービスを活用し、パッケージングで開発・運用する事業展開を通じて、新しい価値を提案することを目指す。

ZMPは、「Robot of Everything あらゆるものにロボット技術を応用し、安全で楽しく便利なライフスタイルを創造する」ことを社是とし、様々な分野に自動運転技術を応用・展開してきたが、これまでは全て陸上でのソリューションだった。今回、空へとフィー

ルドを広げることで、陸上ではできなかった新たなサービスの創出を目指す。

製品の第一弾として、自立型無人航空機(UAV)であるマルチコプター型ドローン「AS-MC01-P」を開発中で、GPSと慣性センサ、ソニー製レンズスタイルカメラを統合して、自律飛行と経路に合わせた撮影を制御する。

さらに、長距離・長時間航行性を備えた垂直離着陸機(VTOL)「AAS-DT01-E」も開発中と発表した。



ソニー、データ・ストレージ参入 光ディスクで長期保存

ソニーは光ディスクを活用したデータ・ストレージ(外部記憶装置)事業に参入する。監視カメラなどで大量に発生する情報「コールドデータ」を省エネで長期保存する。2016年前半にもシステムを発売し、20年度をめどに年間売上高1000億円規模を目指す。同社は、新事業用に新しい業務用光ディスクの読み取り・書き込み装置を開発した。ディスクの両面に8個のレーザでそれぞれデータを読み書きする点が特徴。既存のブルーレイ・ディスク(BD)技術の4倍の読み書き速度を実現した。

新たに開発した本装置を使い、データ・ストレージのシステム構築から運用サービスまでを企業にパッケージで提供する。システムの構築および運用は、ソニーが2015年5月に買収した米国カリフォルニア州のオプティカル・アーカイブ(OAI)のノウハウを活用する。

OAIは元Facebook役員であるフランク・フランコヴスキ氏

が創業した光ディスクを活用したストレージ・システムのベンチャー企業。最先端のデータセンタの構築と運用ノウハウをもつOAIとソニーの光ディスク技術を持ち寄る。

記憶媒体には、パナソニックと共同開発した業務用の光ディスクを使う。1枚当たりの容量はBDの約3倍に当たる300Gバイトで、将来は1Tバイトまで拡大する見通し。記憶容量を増やすことで、大量のデータの保管コストを下げる効果を見込む。

現在のストレージ市場は磁気ディスクを使ったハードディスク駆動装置(HDD)が主流で、用途に合わせて磁気テープも使っている。ただ、光ディスクの寿命はおよそ半世紀あり、磁気テープの約20年より長いとされる。

さらに光ディスクは通電の必要もなく、HDDなどに比べて消費電力を抑えたシステム運用が可能になる。

今まで見えなかった ものまで見通せる。

駐車場全体を非常に鮮明なワイドショットで表示、個々のナンバープレートまで同時に識別可能。業界初の7K (30メガピクセル) カメラとなる Avigilon 7K HD Pro は、解像度が4K カメラのほぼ4倍向上しており、その一方で帯域幅やストレージの使用を最小限に抑えます。

7K



最大の鮮明度

最小限の
帯域幅とストレージ

AVIGILON™

詳細については、<http://avigilon.com/7K> をご覧ください

日本ヒューレット・パッカード、2社に分社化

日本ヒューレット・パッカードは2015年8月1日から「日本ヒューレット・パッカード株式会社」と「株式会社 日本HP」に分社したと発表した。日本ヒューレット・パッカードがエンタープライズ事業、日本HPがPCとプリンティング事業を担当する。代表取締役社長は日本ヒューレット・パッカード株式会社が吉田仁志氏。株式会社 日本HPは岡 隆史氏。日本法人を8月に分社することは以前明

らかにしていた。

11月1日に予定されている米国本社(ヒューレット・パッカードカンパニー)の分社に先駆けた動き。「日本に限らず、世界のいくつかの地域では8月から分社して活動を始めている」(広報部)という。米国では「Hewlett Packard Enterprise」と「HP Inc.」に分社する。

三菱電機エンジニアリング、図研エルミックのネットワークゲートウェイ・ライブラリを採用

三菱電機エンジニアリングが今回採用したのは、図研エルミックが開発した、FA機器のネットワークと監視機器のネットワークを繋ぐゲートウェイのミドルウェア・ライブラリ「Ze-PRO F/S Gateway」。

「Ze-PRO F/S Gateway」は、FA (Factory Automation)およびPA(Process Automation)ネットワークとして普及が進んでいる「CC-Link IE Field」と、監視カメラを中心とするセキュリティ機器ネットワークの標準規格であるONVIFをつなぐゲートウェイ用ミドルウェア・ライブラリで、2015年3月にリリースした。

【FA/PA機器と監視機器の融合効果】

●製造装置の特定の動作やセンサからの異常検知報告に応じて、監視カメラが自動的にズームし、監視室や携帯端末への表示および録画等の対応を行う。これにより、工場内の安心、安全が大きく向上する。

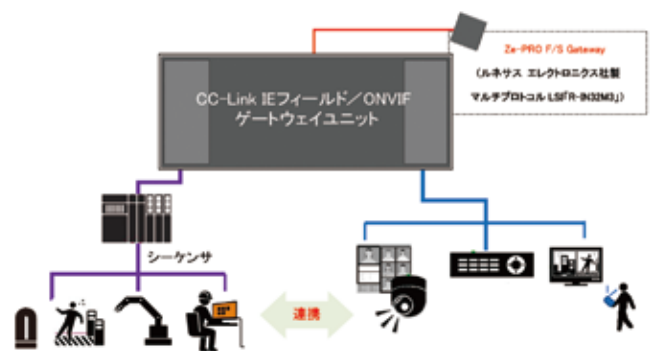
●日々機能が向上する画像処理機能を有する高機能カメラを製造ラインに取り込むことで、カメラが捉えた対象の色、形、動きにより製造や制御機器が最適な対応をするよう制御することが可能になる。



【CC-Link IE Field】

CC-Link IE Fieldは、CC-Link 協会が提唱する産業用リアルタイムEthernet 技術を投入した、超高速で大容量のネットワーク規格。生産現場だけでなく、情報系を含めた生産システム全体の最適化(垂直統合)を実現する。

CC-Link IE Fieldは、制御と情報を同時に扱える高速フィールド・ネットワークで、高速性に加え、通信の定時性が確保されていることが大きな特長。情報通信、制御機器間通信、デバイス制御をEthernet ベースで実現している。



<専用ゲートウェイ機器>

三菱電機エンジニアリングは、「Ze-PRO F/S Gateway」のゲートウェイの専用機器を開発し、製品として市場に提供する。工場の保全担当部門や警備会社、セキュリティ・システム構築者などは、専用機器を購入することで、実際に製造や警備に携わる現場でゲートウェイを直接実現できる。

三菱電機エンジニアリングは、「Ze-PRO F/S Gateway」を搭載した専用Gateway 機器を、2016年2月にリリースする予定。



BOSCH

Invented for life

屋内対応12MP 360°パノラマネットワーク
カメラにより、ミッションクリティカルな
モニタリングの効率を大幅にアップ!



● **FLEXIDOME IP panoramic 7000 MP**

(型番:NIN-70122-F0:360°)

- 撮像素子:1/2.3" CMOS
- レンズ:1.6mm/F2.8
- 最低照度(Lux):カラー0.55/白黒0.18
- 最大解像度:2640x2640(7MP)
- 最大フレームレート:30(12MP)
- インテリジェントデフォッグ/トラッキング、IK6



360°の画像を横長に展開可能

360°のオリジナル画像



補正後の画像もHD 720p程度の高解像度を実現!

● Boschセキュリティ製品に関するお問い合わせ先

ボッシュセキュリティシステムズ株式会社

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-1 ボッシュビル赤坂9F

TEL.03-5485-4427 sales@boschsecurity-jp.net www.boschsecurity-jp.net

エルモ社とセーフイー、オリックスの金融サポートを付与した 新型クラウド監視カメラシステムのパッケージを販売開始

本パッケージは、ハードウェア・メーカーのエルモ社が、業務用クラウド監視カメラとしてQBic CLOUD CP-1S/CP-1Wの2機種を発売し、クラウド録画システムを運営するセーフイーが、録画保存期間の延長やシステム・メンテナンスなどの業務用サービスを構築して、利便性を実現する。そして、オリックスが、機材と設置工事費用およびサービス費用を、リースおよび支払委託の仕組みで費用を平準化し、販売をサポートする。

今後、エルモ社とセーフイーそしてオリックスの3社はマーケティングを推進するとともに、エルモ社の全国販売網および新規販売代理店を通じて、製品販売とサービス提供を行う。



高千穂交易、ビデオ・クラウド・システム「GV-cloud」のサービスを開始

GV-cloudは、見たい場所の映像を高画質でクラウドに保管し、いつでもどこでも確認することができる。

企業のセキュリティ映像管理システムは、アナログカメラからIPネットワークカメラへ、その記録方法はハードディスクからクラウドへと移行する動きが活発になっている。クラウドで映像を管理することでNVRの設置が不要となり、ネットワーク経路による監視および録画の一括管理が可能になる。

【GV-cloudの特長】

- 世界トップクラスの高品質で高解像度の映像をクラウドに保存

- 簡単な設置と操作
- PCやタブレットやスマートフォンからのアクセスが可能
- サービス料金やGVクラウドカメラ機器価格のローコスト化
- 基本14日間の録画保存
- パスワード/IDおよび画像認証の採用で、SSLによる不正アクセス防止する機密性の高いセキュリティ対策の実現

【販売価格】

GVクラウドカメラが1台あたり20,000円台から、クラウドサービス価格は、HD画像30fpsで月額5,000円から。

ASK TRADING、CEPSAブランドでセキュリティ事業を拡大展開

ASK TRADINGは、2007年より「CEPSA (セプサ)」ブランドで監視カメラ事業を展開している。アナログからネットワーク、最近ではHD-Over-Coaxialの一つであるHD-CVIシステムを積極的に販売している。

大手海外メーカーと太いパイプを持ち、ASK社現地スタッフがネイティブで交渉を担当し、単なるOEM販売とは異なり、日本市場に特化したモデルの製造委託を行っている。

CEPSAの特徴はHigh QualityとLow Cost High Value、Best Support。高品質な製品のみを低価格での販売、そして充実したサポートを実施している。CEPSAではほとんどのモデルのデモ機を用意し、購入前の事前貸し出しを行っている。レコーダのハードディスクは全て監視用途専用モデルを搭載。自社内に豊富な在庫を持ち、出荷に際しては社員による全数検査と24時間エー

ジングを行っている。また保証期間中の修理に関して先出しセントバック方式を採用、現場での人的・時間的ロスを最小限に抑えている。

CEPSAのネットワークカメラはすべてメガピクセル以上を採用、HD-CVIでも1080Pモデルのみ展開し高画質を前面に打ち出している。SECURITY SHOW 2015出展時には4Kネットワークカメラ、4K NVR、12メガピクセル360度カメラを初展示した。既に4K NVRは多くの企業で導入され、CEPSAブランドは着実に認知されつつある。

また、監視カメラ/レコーダだけでなくとどまらず、CVBS(BNC)入力対応スクエア型液晶モニターや顔認証ターミナルも販売し、CEPSAのトータル・セキュリティ・ブランド化を目指している。



4K
ULTRAHD



- ① 8-パノラマ
- ② F-ラグド・ドーム
- ③ A-コンパクト・ドーム
- ④ 5-IR・バレット
- ⑤ 6-ボックス
- ⑥ 7-ズーム・ボックス

Professional Line

プロフェッショナルからSMBまで 24時間体制で監視



- ① H-マイクロ・ボックス
- ② L-マイクロ・ドーム
- ③ D-ミニ・パノラマ
- ④ J-マイクロ・バレット
- ⑤ M-ミニ・ドーム
- ⑥ F-ラグド・ドーム
- ⑦ N-ミニ・ドーム

SMB Line

マーケット&マーケット社、セキュリティの世界市場の年平均成長率を9.98%、2020年に1052.6億ドル市場規模と予測。

その中でも映像監視分野が、2015年から2020年までの期間で最も高い年平均成長率を遂げ、セキュリティ市場を牽引すると予測している。その背景には、テロ攻撃の発生増加を含む世界的なセキュリティへの懸念の台頭により、各国政府はそれぞれの施設と資産そして国民の安全を確保するために、セキュリティシステムやソリューションを実現するための予算配分を増加させている。

これらの因子は、これは今後数年間にわたり、セキュリティ市場の成長を促進することになる。とりわけ、予測期間中最も高いCAGRで成長すると予想されているメンテナンスとサポート分野などのサービスの中でも、システム統合とセグメントが、セキュリティ市場の最大のシェアを保持している。

これらのソリューションは、企業は、世界中のユーザー IDおよびそれに関連するアクセス権を維持する上で重要となる。そのため、従来のアナログカメラによる監視は、IPネットワーク映像監

視に置き換えられていく。特にAPAC(アジア太平洋地域)は、セキュリティ・ソリューションおよびサービスの最大新興市場の一つとなる。

マーケティング&マーケティング社による今回のセキュリティ世界市場報告書では、適切なセキュリティ・ソリューションを維持するために提供される様々なシステムやサービスに焦点を当てている。市場は、入退制御、映像監視、周囲侵入検知、セキュリティ情報管理、スクリーニングとスキャンング、安全性とセキュリティ機器などの観点から構成している。報告書の対象となった主要なサービスは、システム統合と設計、コンサルティングとサポート、そしてメンテナンスである。

報告書はまた、政府・公共部門、電気通信・情報産業などの主要エンドユーザの業種をカバーしている。また、この報告書は、今後の市場成長、制約および新しい事業機会を誘発している主要な要因を列挙している。

顔認証市場、米国で26.7億ドルまで拡大するとの予測

トランスファーマシ・マーケットリサーチ社が発行した新しい市場レポート「2015年-2022年の顔認証市場：世界産業分析、規模、市場シェア、成長、潮流、および予測」では、顔認証の界市場のうち、米国市場が26.7億ドルに達すると予測している。

本市場では政府機関での監視システムの需要増加が、拍車をかけると述べている。これは、犯罪と世界各地でのテロ活動数

の増加が、近い将来、効率的な顔認証ソリューションやシステムへの需要を高めるとしている。また、民生用エレクトロニクスの顔認証を大規模に結合した企業向けシステムにより、顔認証の受け入れは将来の顔認証技術の需要を大きく喚起すると期待されている。なお、報告書は、このような技術の種類及び最終用途産業などのパラメータに基づき、それを分割することで、市場の詳細な分析を提供している。

顔認証の世界市場は2014年13億ドルだったと推測され、2015年から2022年までは年平均成長率9.5%で推移すると予想している。顔認証の世界市場には、2次元顔認証、3次元顔認証、顔分析のタイプがある。その中でも、2次元顔認証技術と比較して、3次元顔認証技術が高信頼性と高精度があることから、この5年間に高い成長を記録すると予想している。

さらに、顔分析の市場成長は、新技術で対象者プライバシーを守りながら人の顔画像を認識するため、一段と安定した成長を記録すると予想している。



IBS Japan、同軸ケーブルで最長2,000mのLAN延長器を発売

アナログ回線のアップグレード

ネットワークカメラ導入時の課題として、インフラ敷設コストが挙げられる。アナログ回線用の同軸ケーブルがデジタル・ネットワークカメラのインフラとしてそのまま流用できないかと、多くのユーザが考えているだろう。アイ・ビー・エス・ジャパンが取扱いを開始したINTERCOAX社製イーサネット・メディア・コンバータ「ECP-2701」は、同軸ケーブル(5C-2V)をはじめ、Cat5eケーブルや電話用ケーブルを用いて簡単に100m以上のイーサネット延長を実現する。

高速通信、PoE+延長が可能

ECP-2701の優れた性能として、5C-2Vの同軸ケーブルで最長2,000mの長距離通信が可能であることと、最大270Mbpsの通信スループットをサポートすることで、ネットワーク幹線としても利用が期待できる。PoE(+)延長では最長1,200mまで可能だ。

容易な設定で多彩な接続形態に対応

ECP-2701の魅力はその性能だけではない。総延長距離以内


に複数のECP-2701をT字型分岐プラグによりデジチェーン接続することで、最大63台を1つのネットワークとして構成することが可能だ。また、PoE(+)の延長だけではなくスプリッタ機能もサポート。PoE(+)をサポートしていない機器に対して、本体の端子台から12VDCを取り出して電源供給を行うことができる。

高セキュリティで安全な通信

セキュリティ機器のためのネットワークにおいては、回線の安全性も重要な課題だ。ECP-2701は同軸回線で128bitのAES暗号化を適用している。そのため通信を傍受されることがあっても映像やデータの盗聴を防ぐことができる。

【その他の主な特長】

- LAN(RJ45)インタフェイス：10/100/1000Base-T自動認識
- 同軸(BNC)インタフェイス：独自方式 最大270Mbps
- 動作温度：-20～+60℃
- サイズ・重量：83×145.3×28(mm)、198g
- 実勢価格：ECP-2701が33,000円(税別)

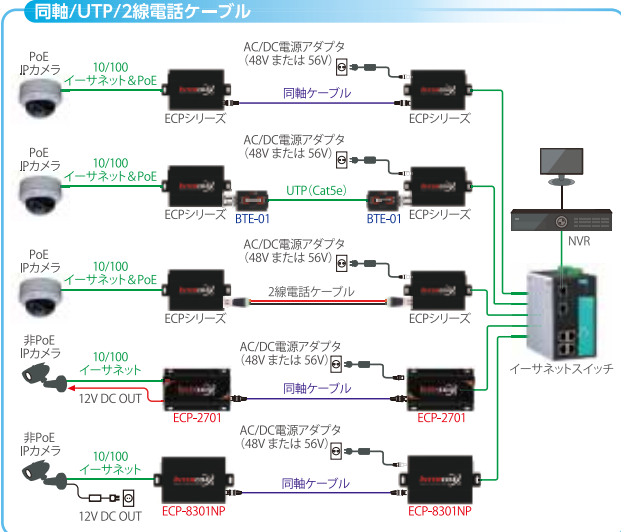


Intercoax
イーサネット延長用
メディアコンバータ

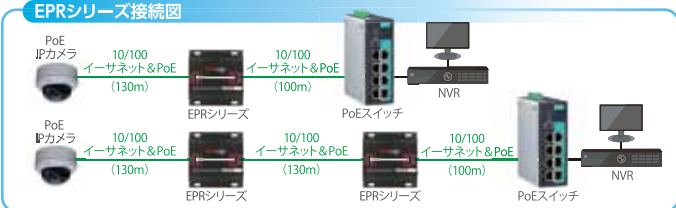
製品ラインナップ

<p>ECP-27シリーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●最大帯域270Mbps ●1:63までのマルチ接続 ●最長2km延長 	<p>ECP-95シリーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●最大帯域90Mbps ●1:15までのマルチ接続 ●最長500m延長 	<p>EPRシリーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●10/100BASE-T(X)スピード ●IEEE802.3af PoE ●PoE受電で130m延長 (4リピータで最長600m)
<p>ECP-84シリーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●最大帯域95～360Mbps ●UTPで最長300m延長 	<p>ECP-83シリーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●最大帯域50Mbps ●UTPで最長200m延長 	

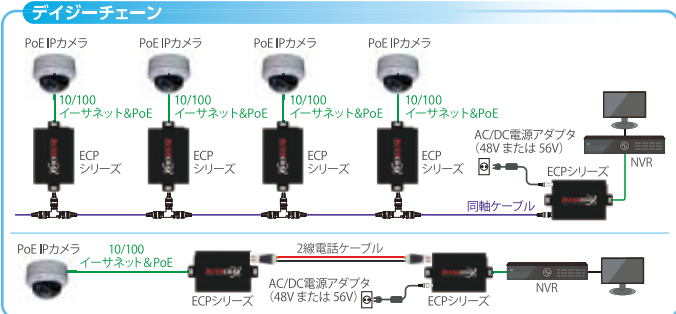
同軸/UTP/2線電話ケーブル



EPRシリーズ接続図



デジチェーン



●掲載されている接続図は全てイメージであり、実際の製品とケーブルの接続場所が異なる場合がございます。

IBS Japan アイビー・エス・ジャパン株式会社
http://www.ibsjapan.co.jp/

■ 厚木センター
〒243-0432 神奈川県海老名市中央2-9-50
海老名プライムタワー12F
TEL:046-234-9200 FAX:046-234-7861

■ 東京システムセンター
〒153-0043 東京都目黒区東山1-2-7
第44興和ビル9F
TEL:03-3713-8944 FAX:03-3713-8931

■ 大阪営業所
〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町2-3-13
大阪国際ビルディング31F
TEL:06-7711-3767 FAX:06-4964-2046

マイルストーンシステムズ社 ベンジャミン・ロウ氏に聞く

日本市場での事業展開にどう取り組むのか？

【質問】 今後日本市場での事業展開する上での基本理念は何か？

【回答】 日本のマイルストーンシステムズは、カンントリー・マネージャのエリック・モンドーフ氏を中心に、スタッフ増強の段階にある。APAC本部は、人事面でモンドーフ氏をさらに強力にサポートする。営業と技術要員を増強し、「マイルストーン・ケアプログラム」を日本で展開する予定だ。これは、数社の顧客が、当社のメンテナンス・パッケージを強く求めているからだ。これにより、顧客は直接的に当社のデンマーク本社の支援を受けることが可能になる。

また、大規模案件に関しては「Global Bid Desk」というプログラムを展開する。これにより、本社から直接、大規模案件に対するサポートを提供し、受注に繋げることができる。

さらに、NVRソリューションである「マイルストーン・ハスキー・アプライアンス」は、昨年米国で販売を開始して高い評価を受けている。APACでは豪州に引き続き、日本でも販売を開始する準備を進めている。

【質問】 国際市場で実施している様々なセミナーやトレーニングを日本市場で行う予定は？

【回答】 この質問には、2つの要素が含まれている。1つは、MPOP(Milestone Partner Program)で、代理店、再販業者などが参加し、2～3日の日程で開かれる国際的なイベントだ。これを日本単独で開催するのは難しいが、カンントリー・マネージャが本社や各国と協力して計画していくことは可能だ。

もう1つは、国際的な販売会社を中心に4～5カ国間で開催するイベントで、英語を理解できる日本の販売会社がシンガポールでのイベントに参加することで、情報交換や基本的な知識の共有する点で有効だ。

【質問】 日本の16チャンネル以下の市場では、NVRが優位性を保っているが、対応策は？

【回答】 この傾向は日本とアジア特有の事情でなく米国や豪州

でも同様で、小規模な各国のNVRを導入する顧客が増えている。対応策である「マイルストーン・ハスキー・アプライアンス」は、4, 8, 10- 100チャンネルのオールインワン機能をシステムに期待する顧客向けに効率的に設計され、必要なソフトウェアを一つにまとめているので操作性に優れ、さらにオープン・スタンダードに準拠しているため、アップデートの際にも拡張性が高い。このソリューションは、日本をはじめアジア各国に普及すると期待している。



【質問】 現在日本のVMS市場では、国際ブランドXProtect、Omnicast、exacqVisionと、幾つかの日本ブランドが事業を展開している。この状況をどのように見ているか？

【回答】 このような状況は日本だけでなく韓国と中国でも同様だ。現地企業の提供するVMSを導入している顧客も多いことは事実だが、これらのVMSでは十分でない機能を当社製品は提供している。

マルチベンダの様々な機器に接続できるオープン・アーキテクチャ、高い安定性、相互互換性などの価値を総合的に判断すれば、より多くの顧客が当社製品を導入したいと考えるだろう。

【質問】 現在の日本の代理店数に対する基本的な考え方は？

【回答】 代理店数が問題なのではなく、当社製品に注力してくれるかどうか問題だ。取扱製品の上位に当社製品を位置付けていないならば、主力代理店とは言えない。彼らが販売会社として適格なのか、再販業者であるべきなのかは常に検討していきたい。



増設に加速度がついた監視カメラ市場

■防犯用途の監視カメラの増加

駅のホームや駅構内、繁華街や交差点を歩いていると、至る所に監視カメラがあり、日々増えていることが実感できるだろう。サイバー犯罪やテロの脅威が増していると言われる今日、監視カメラの増設が相次いでいる。IPカメラの低価格化、高機能化などもそれを後押しし、世界ベースでの出荷台数は2010年以降、概ね2割増し以上のペースで販売台数が増加している。

■マーケティングへの活用

あるチェーンストアの事例としては、顧客の店内の通行パターンを記録、解析し消費行動を調査したデータを収集している。そのデータを元に後の商品配列を決めたり、商品の発注数量を決定したりと、マーケティング分野への活用も進んで来ている。

■カメラ増設時の問題点

監視用途でIPカメラの検討をするにあたり、屋外に強い製品、PTZ機能が優れている製品、コストが安い製品など、メーカーごとに特徴があることがわかる。同じメーカーのカメラとデコーダの組み合わせなら動作するが、複数台のカメラ設置案件で1台でも違うメーカーのIPカメラを導入しようとする、その1台のためにデコーダを購入しなければならない。

複数のメーカーのIPカメラに対応したデコーダ(マルチベンダー・デコーダ)があれば、複数のカメラメーカーのなかから、設置場所に応じてコストパフォーマンスの良い製品をチョイスでき、配線も簡略化されるなど様々なメリットがあるため、このような製品が支持されつつある。



既存のアナログ環境に、IPカメラを増設したい。
IPカメラ+デコーダ=コストがかさみ、配線がさらに複雑に…

各社のデコーダとマトリックススイッチャ



マルチベンダーデコーダ

MBoxLite1台に一本化

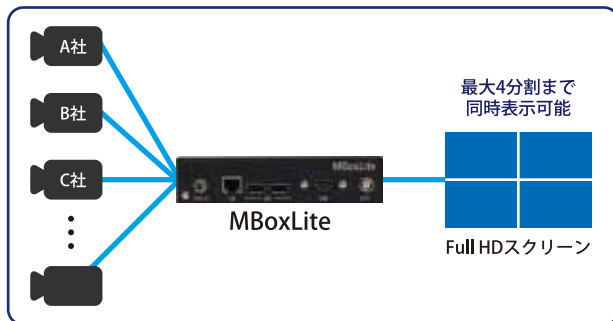
- ✓ AXIS / Canon / Panasonic / SONYほか各社映像伝送装置に対応
- ✓ 最大4画面分割 (Full HDスクリーン 1台)
システム環境によっては、9画面分割も可能です。別途お問い合わせください。
- ✓ ブラウザで簡単リモート制御
- ✓ 自動巡回機能を搭載



フルHD対応マルチベンダーデコーダ MBoxLite

標準価格 ¥200,000 (税別) /台

アナログ音声出力にも対応したフルHD対応マルチベンダーデコーダ MBoxもございます。くわしくは、お問い合わせください。



GDSF JAPAN 2015に出展します

2015年9月17日 (木) 13:00~18:00
2015年9月18日 (金) 10:00~18:00
UDX GALLERY NEXT (東京・秋葉原)



ハイテックインター株式会社
HYTEC INTER Co., Ltd.

「産業用ネットワークと映像通信」の分野で、
お客様の課題を解決する技術・ソリューションを提供!

ハイテックインター

検索

TEL:03-5334-5260(営業) E-mail:info@hytec.co.jp

可能性は無限に クラウド・ベースの セキュリティ監視

●ブラザンス・アビ・トマス 著

監視データをクラウドに移行すると、顧客がシステムを自由に拡張できるようになるだけでなく、高度な映像解析など、大量の処理能力が必要なサービスも利用できるようになる。エンドユーザにとっては明らかに良いことばかりだが、チャンネル・パートナーやシステム構築者は、この新しい市場にどのように適応していくのだろうか。

先端技術の進歩に伴い、帯域幅が拡大し、高画質のカメラから膨大な量のデータが生成されるようになった現在、クラウド・ベースのセキュリティ・システムやVSaaS (Video Surveillance as a Service: サービスとしての映像監視) がセキュリティ業界の最新の潮流のようだ。IHS社は、VSaaSを「セキュリティカメラから離れた場所で、ライブ映像または録画映像による映像監視データを見ることができる定額制のソリューション」と定義している。同社によると、この業界は、2013年は推定7億5,950万米ドルの規模だったが、2017年には13米ドルに達する見通しだ。

VSaaSは急速な成長が見込まれるだけでなく、セキュリティや自動化の様々な機能をまとめてクラウドに統合することも予測される。

IHS社映像監視アナリストのアーロン・デイル氏は「より完全でよりカスタマイズされたソリューションを提供する目的で、



- ①イーグル・アイ・ネットワーク社社長兼CEO
ディーン・ドラコ氏
- ②バラクーダ・ネットワークス社
CudaEye営業担当部長
マッセウ・コノリ氏



↑ クラウド・ベースのセキュリティ監視サービスの提供企業が、小売業向け解析など、セキュリティ以外のサービスを提供するケースが増えつつある。



VSaaSソリューションを他のサービスと組み合わせるケースが増えつつある。VSaaSソリューションに統合されることが多いサービスとして、入退管理、POS(point-of-sale)、エネルギー管理、侵入アラーム、映像解析などが挙げられる」と語る。

クラウドが最適な選択肢になる業種

これまで、クラウド・ベースの監視ソリューションの採用に積極的だったのは主に中小企業だ。少ないながらも複数の場所に分散している狭い区域を監視しなければならない中小企業において、特にその傾向が強い。一方、急速に成長しつつある市場は住宅部門だ。何社かの電気通信事業者がこのサービスの提供を開始し、住宅所有者の間でセキュリティに関する意識が高まっている。

ブリュッセルマーケティング担当副社長リ・オデス氏によると、著しい成長が見られる業種として、小売および専門サービス、医療および宿泊施設、そして食品サービスが挙げられる。アクシスコミュニケーションズAB社南アジア太平洋地域担当ビジネス開発マネージャのナフィス・ヤスマニ氏も同意見だが、特に小売部門の潜在成長力を高く評価している。

「コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、小売店、小規模オフィスなど、1カ所ないし複数の拠点を持つ小規模企業にとって、ク



③ アクシスコミュニケーションズAB社
南アジア太平洋地域担当
ビジネス開発マネージャ、
ナフィス・ヤスマニ氏
④ スマートヴェユ社CEO
マーチン・A・レンキス氏

ラウド・ベースのソリューションは理想的だ。例えば、アラーム・サービスに加入している企業や、各地に点在する小規模な拠点を持つ企業など、小売分野の典型的な最終顧客の潜在成長力が高い」とヤスマニ氏は言う。

他のサービス提供企業も同様に楽観的な見方をしており、先端技術の進歩に伴い、クラウド・ベースの監視を採用する業種が増えるの見込んでいる。アコバ社CEOニコラス・デュプレ氏は、光ファイバ高速インターネットの普及もあり、専門サービス市場や小売市場が続々とこの新しいシステムに移行すると予測している。イーグル・アイ・ネットワーク社社長兼CEOディーン・ドラコ氏によると、同社ではオフィスや小売店、集合住宅やキャンパス、製造業や銀行、官公庁や飲食店など、様々な業種で成長が見られるという。

クラウドを利用した セキュリティ・サービスの種類

クラウド・ベースのセキュリティ・システムは、比較的新しいソリューションで、まだ標準的な分類基準がないが、IHS社映像監視アナリストのアロン・デイル氏によると、VSaaS業界は以下の2つのタイプに大別できる。

ブランドを保有するVSaaS提供企業

ブランドを保有するVSaaS提供企業とは、エンドユーザ向けに自社ブランドのソリューションを提供している企業であり、再ブランド化されたソリューションも含まれる。

VSaaSソリューションと基盤の提供企業

ブランドを保有するVSaaS提供企業に「ノーブランド」のVSaaSソリューションを提供する企業で、通常このタイプの企業の収益は全て、ノーブランド・ソリューションの売り上げによる。ただし、VSaaSソリューションをエンドユーザに直接販売している企業もある。

IHS社アナリストはさらに、監視データの保存方法の観点からも市場を分類している。第一のタイプは完全ホスト型の映像サービスであり、映像データは全て、セキュリティカメラの設置場所とは別の場所に保存される。保存先は、提供企業所有のデータセンタである場合と、アマゾン社、マイクロソフト社 Azure(アズール)などのサードパーティが管理するデータセンタの場合がある。

第二のタイプはクラウド管理映像サービスで、顧客は有料で映像を遠隔から管理し、表示することができる。映像データは、セキュリティカメラの物理的な設置場所に保存される。映像監視ストレージの形式は自由だが、多くの場合、デジタル・ネットワーク・レコーダ(DVR)またはネットワーク映像レコーダ(NVR)で構成される。

その他、クラウド管理型とホスト型の映像監視を組み合わせたハイブリッド映像サービスも存在する。

セキュリティを超えたクラウド・アプリケーション

映像監視はもはや、何が起きているかを見るだけのものではなく、エンドユーザの様々な要件に応じた、インテリジェントな解析ソリューションとしての重要性が高まりつつある。クラウド業界でも、サービス供給企業が専用ソリューションの提供に努めている。デュプレ氏によると、アコバ社はナンバープレート認識や顔認識、小売店統計に取り組んでいる。

バラクーダ・ネットワークス社CudaEye営業担当部長マッセウ・コノリイ氏によると、同社では内蔵映像解析機能と独自のアルゴリズムを利用して、録画中に重要な要素を識別し捕捉している。これは、単なるセキュリティに留まらない利点をエンドユーザにもたらす。

「CudaEyeは、従業員の管理とトレーニング、生産および組立ラインの監視、各地に点在する拠点の遠隔表示のための優れたソリューションだ。教育機関や官公庁では安全対策、営利企業では法令順守を目的として、CudaEyeによる監視が定期的に利用されている」とコノリイ氏は語る。

映像解析がセキュリティ・アプリケーションを拡張し、カスタマ



5



6

⑤ アコバ社CEO
ニコラス・デュプレ氏
⑥ プリヴォ社
マーケティング担当
副社長リ・オデス氏

イズする明白な機会をもたらす点については、ドラコ氏も同意見だ。同氏は、この先端技術を使いやすくするためのイーグル・アイ・ネットワーク社の取り組みについて、「必要な基盤を削減し、新しいアプリケーションの開発による革新を促進するため、オープンなRESTful APIを開発した」と説明する。

クラウド管理ソフトウェアプラットフォームが主力製品であるイヴェダ社のような企業にとり、解析の重要性はさらに高い。イヴェダ社会長兼CEOデイビッド・ライ氏によると、同社のクラウド業界への参入は、従来の映像監視提供企業とはかなり異なる。

「解析ソフトウェアは、従来のセキュリティ業界の水準を超える効率性を備えなければならない。よりシンプルで柔軟性に富み、



⑦イヴェダ社長兼CEO
デビッド・ライ氏
⑧IHS社
映像監視アナリスト、
アーロン・デイル氏

簡単に設定できることも要求される。大衆市場への浸透を本気で考えるなら、無限の拡張性を備える必要がある」とライ氏は語る。

さらに、次の大ブームとして業界全体で注目されているIoT(モノのインターネット)もある。デビッド・ライ社CEOマーチン・A・レンキス氏によると、同社はクラウドで培った専門性を活かし、日常的な機器にクラウドを応用することで、この新しい分野における存在感を高めていくことを計画している。

レンキス氏は、「当社ではIoTと呼んでいる、映像対応のIoTの市場にも注目している。また、7月にはマイクロソフト社とAT&T社と共同で革新的な警察車両サービスを発表する予定だ。このように、自動車からホーム自動化装置まで、クラウド監視サービスにより、驚くほど斬新な価値が実現されるだろう」と語る。

勝ち抜くための差別化戦略

最新の先端技術ビジネスの例に漏れず、クラウドの分野でも競争が熾烈化しつつあるため、各社とも独自のセールスポイントで差別化を図ることが欠かせなくなっている。

どの競合他社よりも早い時期からこの分野に進出していたと主張するスマートヴュ社によると、同社のソリューションはコスト面で40%の優位性があるという。

「当社は、あらゆる解像度とビットレート要件に対応し、業界最高クラスのカメラ数千台をサポートする、真のHTML5ブラウザベースのクラウド・ソリューションとハイブリッド・クラウド・ソリューションを提供している。当社は、統合型の企業管理機能を提供し、入退管理、ISP課金システム、IoT機器、POSなどの複雑な統合をサポートするほか、OEM/パートナーシップも展開している」とレンキス氏は語る。

CudaEyesは、親会社であるバラクーダ社製カメラを使用した完全なソリューションを販売しており、特許取得済みの帯域幅管理技術、無制限のユーザ数とカメラ台数と拠点数、保存期間別のデータストレージ、豊富な種類のサービスプランが主な特長だ。

オデス氏によると、ブリヴォ社は1つのユーザ・インタフェースでネイティブに動作する唯一のクラウド型入退管理、映像監視ソ

リューションであり、さらに使いやすくなっている。

「顧客は、ビジネスの片手間に監視システムや入退管理システムを管理するのではなく、ビジネスに注力しながら、必要な時に必要な場所で自分が選択した機器を使用してシステムを利用することができる」とオデス氏は言う。

デュブレ氏によると、アコバ社の主な差別化要因は、導入の容易さに加えて、適切なプライバシーを保証する映像暗号化システムだ。経済的な観点では、小売チェーン店などのエンドユーザの場合、メンテナンスに必要なコストは従来の監視システムと比較して5分の1程度だ。

クラウドの分野で、さらなる専門化への道を選んでいる提供企業もある。例えば、イヴェダ社は、クラウド映像管理プラットフォーム事業に特化している。同社の取引先は、サービス供給企業特に電気通信事業者であり、大衆市場向けにクラウド映像監視を提供するのに適した基盤を所有する企業に、ソフトウェアの使用を許諾している。

セキュリティ企業もクラウドに進出

クラウドの潜在力は際立っているため、相当な市場シェアを獲得している大手のセキュリティ企業も、独自の戦略を打ち出す必要に迫られる。これらの企業は、既に広範囲に及ぶ顧客基盤を持ち、ブランドの認知度が高く、クラウドへの進出に必要な基盤を備えている点が有利だ。

アクシスコミュニケーションズAB社は、既存の監視用ストレージシステムを補完するため、Axis Video Hosting Service (AVHS)を提供している。

「AVHSは、当社が開発し、柔軟で信頼性に優れ高セキュリティのサーバ・ソフトウェア・プラットフォーム型映像監視ソリューションで、ユーザのビジネスの成長を支援する。当社のサービス提供企業ネットワークを通じて、リモート・ガード・ツアー、強力な監視サービス、アラーム監視、その他のビジネス管理サービスなど、提供企業独自の監視サービスを搭載したソリューションが提供されている」とヤスマニ氏は語る。

システム構築企業にとってのクラウドの利点

VSaaSの場合、従来の監視システムよりも初期費用が低額であるため、提供企業各社は、携帯電話業界で普及しているビジネスモデルと同様の、ハードウェア費用込みの月額制サービスプランを検討している。

デイル氏によると、既に同様な料金体系を取り扱ってきたシス

テム構築企業は、こうした経常収益モデルの人気の高まりに乗じるのに適した立ち位置にいる。システム構築企業とメーカは戦略的に提携し、この市場を巧みに利用できる可能性がある。

もちろん、ほとんどの提供企業がこの情勢を理解し、システム構築企業に有利な戦略的対策を講じている。

「当社は、粗利の大部分を、営業を担当するシステム構築企業と分け合っている。当社は、ウェブサイトを通じて、完全なノーブランド製品を提供し、パートナー企業にモバイル・アプリケーションのパンフレットを販売する。月額請求プラットフォームを当社が無料で提供するので、パートナーは何もする必要がなく、営業に全力を傾けることができる」とデュブレ氏は語る。

コノリイ氏によると、CudaEyeでは、パートナー企業と顧客向けに、強力なプリ/ポスト・セールス支援を提供している。「CudaEyeは、バラクーダ社製品とサービス・ポートフォリオの一部だ。CudaEyeのパートナーは、見込客の紹介、ウェブ上で行うデモ、総合マニュアル、データシートなどの印刷物、業界をリードする電話サポートなど、バラクーダ社からプリ/ポスト・セールス支援を受けることができる」とコノリイ氏は言う。

一部のサービス供給企業は、収益モデルを完全なものにすることを優先している。レンキス氏によると、スマートヴウ社のソリューションは、実績のある経常収益モデルと同時に、構築企業のための一元的な管理システムを提供する。

一方、アクシスコミュニケーションズAB社などの大手メーカにとっては、システム構築企業は、経常収益をもたらすだけでなく、クラウド・ベースの監視という急成長中の最新の潮流をシステム構築企業のような製品と統合する役割を担う。

ヤスマニ氏は、「システム構築企業が提供するソリューションに



住宅部門がクラウド・ベースのセキュリティ監視の有力な市場になる日も近い。

既に同様な料金体系を取り扱ってきたシステム構築企業は、こうした経常収益ビジネスモデルの人気の高まりに乗じるのに適した立ち位置にいる。



よって、ユーザは、インターネットに接続できれば、どこからでもカメラやドア制御機器、映像やイベント通知の全てにアクセスすることができる。システム構築企業は、広範囲に及ぶ当社のネットワーク映像製品を利用して、設置場所の要件に合った、様々なカメラ機能やエンコーダ機能を柔軟に提案することができる」と語る。

クラウド・ベースのサービスの人気が高まるにつれ、サービス提供企業は、将来の需要の進化に対応して、より特化型の製品を発表する可能性がある。同時に、クラウドに保存される情報のセキュリティへの注目がさらに高まるだろう。先端技術が進歩し、より簡単に利用できるようになれば、システム構築企業やチャネル・パートナーがクラウドに焦点を合わせるのは必然的な流れと言える。





フィッシュアイネットワークカメラシリーズ 全てを監視 - 360° の視界を確保

VIVOTEKの優れたフィッシュアイカメラは、各種メガピクセルの解像度、サイズ、外観で、あらゆる種類の監視ニーズに応え、180°のパノラマビュー（壁面設置）、360°のサラウンドビュー（天井・床面設置）の映像を取得できる機能を備えています。これらのVIVOTEKのフィッシュアイカメラにより、空港、ショッピングモール、駅、交通機関、オフィスといったオープンな空間をまったく遮るものなく監視することを可能とします。



CC8130(HS)

CC8130

CC8370-HV

FE8180

FE8174

FE8174V

FE8191

FE8391V



全米小売連盟が2010年に行った調査によると、POSと映像を統合している小売企業は25%に過ぎなかった。規格が存在しないことに加えて、POSシステムの多様さや映像とPOS情報の互換性に関するその他の問題により、統合が妨げられていた。それから5年が過ぎ、POSと映像の統合は当時よりはるかに一般化し、今や多くの小売企業で行われている。POSと映像を統合すると、損害防止の観点から小売企業にとっていかに有利なのか、数社の販売会社に質問した。

●イスラエル・ゴゴル 著

POSと映像の統合 レジ犯罪の防止策になるか？

全米小売連盟の2010年調査から5年が経った現在でも、POS業界は非常に細分化された状態が続いている。それでもPOSと映像の統合は着実に根付き、もはや業界の常識と言えるほどだ。

3xLOGIC社製品管理担当部長チャーリ・エリクソン氏は「当社の場合、顧客企業の100%がPOSの統合を行っており、最も収益性が高い分野になっている。POSの統合は千差万別だが、スタッフが非常に熱心に取り組んでいる。難しさの原因は、規格の欠如とシステムの多様さだ。ある顧客の場合、POSと3つのシステムを統合しなければならなかった。しかし、苦勞するだけの価値はある。POSの統合は、顧客企業にとって最も見返りが大き

い」と語る。

POSデータと他のシステムを統合する際に直面する問題は、市場の細分性だけではない。ソリューション供給企業は、小売業でどのようなソリューションが利用可能なのか、統合によって何が得られるのかについて、知識格差があることを痛感している。

ディジョブ社社長マイク・コンプトン氏は「統合に関する規格の欠如が、難しさの原因の一つだ。それも問題だが、POS統合の定義そのものが非常に幅広い。映像にテキスト・オーバーレイを表示できれば良いという顧客もあれば、より高度なソリューションを求める顧客もあり、顧客ごとに解釈がまちまちだ。エン



ドユーザの間でも、POS統合の意味について、コンセンサスが成立していない。市場教育の問題もある。どんなことができるのかさえわかっていない顧客もいる」と言う。

顧客側には、POSと映像を統合することを決定した後も、乗り越えるべき社内的なハードルがある。

ジェネテック社小売・銀行事業開発担当国際部長スコット・トマス氏は「チェーン店によっては、顧客の支払情報の流出を懸念して、POSデータへのアクセスをIT部門が許可しない場合がある。また、録画技術の提供企業が、取引を映像と関連付けるためのオープン規格やフレームワークを備えていなかった場合もある」



① デジジョブ社社長
マイク・コンプトン氏



② 3xLOGIC社
製品管理担当部長
チャーリー・エリックソン氏



③ リテイルネクスト社
カスタマ・サクセス責任者
プリジェット・ジョンス氏

と説明する。IP映像の世界では、こうした問題の多くが既に克服されている。「当社は、独自に開発したフレームワークにより、損失防止チームに提供する情報を各店舗で正確に設定できるようにしている。つまり、調査担当者は、クレジットカード番号などのデータを見ることはできないが、取引その他の部分について検索し、表示することにより、レジ係が行った不正を突き止めることがで

きる。このオープン・アーキテクチャのフレームワークを使用すれば、企業LANやWANを介してデータを送受信する全てのレジとPOSシステムを統合することができる」と語る。

非常に多数のPOS販売会社が存在し、システムによりデータの取り扱い方が異なる。さらに、現時点では業界規格が存在しないため、新規の統合案件ごとに固有の開発作業が必要になる。ディジョブ社は異色の参入方式を採用して、2015年後半にPOSを統合するためのユニバーサル・ドライバを発表する予定だ。

「POSシステムごとに個別のドライバを使用するかわりに、データを首尾一貫した形で収集できるユニバーサル・ドライバを使用する。これにより、統合を確実に行うことができ、全てのエンドユーザーに共通な双方向の使用環境を実現できる」とコンプトン氏は説

明する。

別の例として、タイコ・リテイル・ソリューションズ社はNRFのUPOS規格を採用した。タイコ・リテイル・ソリューションズ社アジア担当ゼネラルマネジャのジャスティン・リ氏は「NRFのUPOS規格の採用は、POSと映像の統合の推進に役立っている。現在、POSと映像の統合では、XMLとXLSフォーマットは別にして、UPOSを優先的に利用している。直接的な統合が必要なケースもあるが、一般的には、直接的な統合が必要なのは、例外レポート・システムなどのバックエンド・システムと映像監視の間だけで、機器レベルでは必要ない」と言う。

「スウィート・ハーティング」詐欺との闘い

友人や家族のために、レジ係が商品をスキャナで読み取らずに素通りさせる、いわゆる「スウィート・ハーティング」は、従業員による代表的な不正行為だ。精算時に発生するこの種の巧妙なごまかしは、発見するのが特に難しい。映像監視とPOSデータを統合する幾つかのソリューションで、この問題の解決が試みられている。

ストップリフト・チェックアウト・ヴィジョン・システムズ社設立者兼CEOのマレイ・クンドゥ氏は、「従業員が精算の場で窃盗を働くのは、必然的とも言える。現金もあり、店外に持ち出す商品もあるので、こっそりとレジを素通りさせるのは簡単だ。損害金額100ドルのうち、35ドルはレジで発生する不正行為によるものだ」と説明する。

小売企業では、POSデータを使用してデータ・マイニングを行い、レジ係の業務処理に異常がないかの発見に努めている。スウィート・ハーティングのような、より巧妙な不正行為を取り締まるには、データ解析を映像解析と組み合わせる必要がある。このタイプの犯罪には、共通するパターンの繰り返しが見られる。この種の不正行為でよく使われる手口を検知する一般的な手法は、売買の不成立、取引の取り消し、返品が発生を特定するルールを作成することだ。POSデータを当社の映像管理システムに関連付けることにより、損害防止部門がこれらの行動のチェックを最重視して行える、アラーム、検索機能を実現することができる」とリ氏は説明する。

ただし、例外に基づく報告は、あくまでも例外的な状況を検出するためのものであり、それ以外の状況が全て問題ないことが大前提だ。

「例外に基づく報告は、極端な状況だけが対象になる点が問題だ。常習的に小銭をくすねる従業員など、環境の『ノイズ』に紛れ



レジ係が友人や家族のために商品をスキャナで読み取らずに素通りさせる、いわゆる「スウィート・ハーティング」は、従業員による代表的な不正行為だ。

てしまうような事実は検知できない。スウィート・ハーティングは、小売企業の弱点を突く犯罪だ。データに痕跡が残らず、POSデータを使用したデータ・マイニングで検出されない」とクンドゥ氏は言う。

ストップリフト社は、スウィート・ハーティングの検出に特化した映像解析機能を、POSデータと映像監視の統合と組み合わせる形で提供している。「要するに、レジ係と顧客の行動を観察し、POSデータと照合するシステムだ。このシステムは幾つもの処理を同時に実行している。最も重要なのは、人間による商品の取り扱いを観察することだ。システム処理の一環として、映像とPOSデータを利用して、スキャナで読み取られた商品と読み取られていない商品を区別する。スキャナで読み取らずにカゴに入れた商品がないか、顧客がレジに来ていないのにレジ係が返金処理を行っていないかをチェックする」とクンドゥ氏は説明する。

さらに別の対応を提供しているのが「スキャンカム」いう製品だ。POSスキャナに直接取り付け使用するスキャンカムは、商品がスキャンされるたびに緑のライトが点滅する。盗難を検出するのではなく、レジ係が行動を変え、商品を正しくスキャンするようにする装置だ。

スキャンカム社常務取締役ピータ・ストサース氏は、「スキャンカムは、レジ係の行動を変えることによって、スウィート・ハーティングを防止する。当社の経験上ほぼ即座に効果が現れる。レジ係は、正しくスキャンすれば緑のライトが点滅し、レーンに取り付けられた映像監視カメラで撮影されていることを、すぐに理解する。バー・コードを読み取らずにスウィート・ハーティングを行えば、スキャンカムのライトは点滅せず、現行犯で捕まるのは明らかだ」と語る。

スキャンカムを使用すれば、ライブ映像か過去の映像かを問わず、映像からスウィート・ハーティングを簡単に検出することができる。損害防止のトレーニングをほとんど受けていない担当者でも、スウィート・ハーティングを発見することができる。「商品をスキャンしたと見せかけて客のカゴに入れ、スキャンカムが点滅していなければ、それは盗難。きわめて単純明快だ」とストサース氏は言う。

ただし、スキャン漏れの原因が、必ずしも従業員による盗難とは限らない点に注意する必要がある。単なる手違いや不注意の場合もあれば、レジ係が何かに気を取られている場合も多い。リ



④ストップリフト・チェックアウト・ヴィジョン・システムズ社設立者兼CEO
マレイ・クンドゥ氏



⑤タイコ・リテイル・ソリューションズ社アジア担当ゼネラル・マネージャ、
ジャスティン・リー氏



⑥スキャンカム社
常務取締役
ピータ・ストサース氏



⑦ジェネテック社
小売・銀行事業開発
担当国際部長
スコット・トマス氏

テイルネクスト社カスタマ・サクセス責任者ブリジット・ジョンズ氏によると、職場の雰囲気を壊さず、悪意のないミスを犯罪と見なすのを避けるためにも、映像を利用した予備調査が有益となる。

「従業員との信頼関係は、小売企業の成功に欠かせない、レジピの重要な部分だ。例えば、例外に基づく報告と映像データを組み合わせ、詳しい調査が必要と思われる傾向を洗い出した後に、映像やその他の証拠を利用して初期の調査を行えば、どのスタッフとも言葉を交わす必要がない。第一段階の調査を行うための圧迫感のない手法であり、買い物客を最も大事にし、団結力のあるチームを作るのに必要な信頼関係が損なわれずにすむ」とジョンズ氏は説明する。

これは、映像の統合により小売企業にもたらされる付加価値の一つだ。トレーニング目的で利用すれば、従業員は同じミスを繰り返さなくなるだろう。

映像解析は信頼できるのか？

この点については意見が分かれるところであり、じっくりと評価する必要がある。タイコ社リー氏は、「市場は、先駆的な映像解析の販売企業が残した汚名と、早い段階から映像解析を導入した企業の後遺症に、まだ苦しんでいる状況だ。解析エンジンは成熟期に入っているが、市場の認識はそれに追いついていない。しかし、実際に解析をうまく活用した事例が多数存在し紹介されているので、認識に関してはそろそろ潮目が変わりそうだ」と語る。

映像解析は、ヒートマップの作成、滞在時間の測定、店内の客の流れの把握などの用途で良好なパフォーマンスと操作性を示しているが、スウィート・ハーティングを正確に検出するのはもっと難しい。今回の取材では、スウィート・ハーティングに対する映像解析の成功率について懐疑的な販売会社が幾つかあった。

ジェネテック社トマス氏は、「映像解析は、人間の意図までは検知できない。かつては人工知能により潜在的な万引犯を発見で

きると宣伝されたこともあるが、今では、店内通路を徘徊する客は店員の助けを必要としていると解釈されるようになってきている」と語り、映像解析は、その誤認警報率から実用性に乏しいと付け加える。「本当の事件が1つ発見される裏で、盗難ではないのに多数の警報が発生しているのが問題だ。小売チェーンが膨大な量の映像をふるいにかけて本物のスウィート・ハーティングを探し出すのは、時間的にも、人的負担の面からも不可能だ」とトマス氏は言う。

他にも、幾つかの販売会社が、映像解析がスウィート・ハーティング対策になり得ない主な理由として、誤認警報率の高さを指摘した。

ストサース氏は、「個人的には、映像解析はまだまだだと思う。セキュリティ目的で解析を使用する場合、誤認警報の数は理想的にはゼロでなければならないが、それは全く不可能なようだ。誤認警報があまりに多過ぎ、解析を起動する気にならないことが頻繁にある。例えば、忙しい店舗では1人のレジ係がスキャナで読み取る品目の数が、1時間あたり1,000点に上る場合がある。何百もの店舗を擁する大規模チェーンの場合、誤認警報率が1%未満でも、週あたり何千ものアラームが発生することになる。問題は、これだけの量の情報を管理するマンパワーを持たないチェーンが圧倒的に多いことだ。単純にシステムをオフにするしか、解決策はない」と語る。

ストップリフト社などの映像解析提供企業は、この問題を認識している。「当社は可能な限り、実体を伴った結果を提供できるように、いくつかの対策を講じている。当社の契約モデルには、アナリストによる検証が含まれており、アルゴリズムから潜在的に不審と判定された事象だけが検証の対象になっているため、誤認のリスクを回避できる。当社のエンド・ツー・エンド・システムの効率性を示す例として、ダイアルアップ回線にも満たない帯域幅で、小売企業が99%の精度と報告するほどの結果がもたらされている」とクンドゥ氏は言う。

今後の展望

IP機器の普及など先端技術の進歩により、統合は今後さらに容易になることが予測される。「今後は1台1台のレジを接続する



レジ係が商品をスキャナで読み取らずに素通りさせる「スウィート・ハーティング」は、従業員による代表的な不正行為であり、検知するのが非常に難しい。画像提供: ストップリフト社

のではなく、中央のコンピュータから直接データを取得できるケースが増えるだろう。現在のように全部のレジを接続しているのは、ハードウェアの悪夢に等しい。データ交換フォーマットが成熟し、IPの採用が進むにつれ、問題は解決しやすくなる」とエリックソン氏は予測する。

IP基盤の普及率が高まれば、より多様な統合が可能になる。異種システム間の統合により、単なる損害防止のレベルを超えた知見やメリットが小売企業にもたらされる。

POSデータと映像、映像解析とデータ・マイニングの組み合わせは、金銭的損失の防止のみに留まらずに、重要な利点を小売企業にもたらす。例えば、買い物客が何を、どこで、どのように購入しているか、顧客行動をより完全に理解するのに役立つ。

CNB



HD-TVI SOLUTIONS

CNB HD-TVI CAMERAS AND RECORDERS NOW ON SALE!

カメラ



全天候型赤外線TVI小型カメラ
AB21-0CHR



全天候型赤外線TVIカメラ
AB22-7CHR



赤外線TVIマイクロドームカメラ
AD21-0CHR



耐衝撃赤外線TVIドームカメラ
AV22-1CHR

DVR(エントリーモデル)



TVI HYBRID DVR
RTC041 (4CH) / RTC081 (8CH)



TVI HYBRID DVR
RTC162 (16CH)

DVR(ハイスペックモデル) 2015年9月新発売予定



TVI HYBRID DVR
RTD-042 (4CH) / RTD-082 (8CH)



TVI HYBRID DVR
RTD-164 (16CH)



CNB CNB Technology Inc. 日本総販売代理店

TP **TENPO PLANNING** 株式会社 店舗プランニング

関西支店 仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 福岡営業所 技術センター

東京本社

〒151-0061 東京都渋谷区初台1-46-3 シモトビル2階

TEL:03-3378-4901 FAX:03-3378-4906 www.tenpo.co.jp

販売代理店募集中

製造元 CNB Technology Inc.

競技場のセキュリティ ボールから 目を離すな

大規模なスポーツイベントのセキュリティには、他の分野にはない特殊な要素が存在する。システム構築企業の立場では、円滑な運営を適時に行うため、各種の先端技術や機器を組み込む必要がある。

●フランス・アビ・トマス 著

米国ニュージャージー州のメットライフ・スタジアムで、昨年のスーパーボウルの準備が進められていたとき、同スタジアムの保安部門の責任者たちは、最適なソリューションを選定するためにコンペを実施し、最終的にアリコント・ヴィジョン社の製品を選んだ。言うまでもないことだが、大規模なスポーツイベントには、常に保安上の重大なリスクが付きまとう。単に大勢の人々が集まるだけでなく、莫大な金額が動くからだ。

このようなイベントのセキュリティシステムを準備するにあたり、当然のように懸案になるのは、全ての機器や構成機器を統合し、イベント中の重要なタイミングで相互に連携することができるかだ。これらの機器は連続使用しない場合があるため、必要になった時点で直ちに作動できることも重要だ。

アリコント・ヴィジョン社アジア太平洋地域営業担当副社長ベッキ・ツォウ氏は「メットライフ・スタジアムの保安部門は、スーパー

ボウルのようなイベントで要求されるセキュリティ要件を満たし、観客の安全を守るため、スタジアム内外の全ての人の顔、座席、共用エリアを細部まで完全に把握できるソリューションを希望していた。また、カメラで全てを監視するにしても、スタジアムを訪れる人々の目に付かないようにしたいという要望もあった。アリコント・ヴィジョン社のカメラを使用することで、カメラの総台数を抑えることができ、メットライフ・スタジアムの保安部門が目標としていた、高性能でありながら圧迫感のない監視システムが実現された」と語る。

システム構築企業の有望分野

広大な競技場を管理する技術上の複雑さに加えて、全ての機器を統合し、円滑に運用することが必須の条件であるため、専門のシステム構築企業が果たす役割が決定的に重要だ。システム構築企業にとっては、ビジネス拡大の絶好



① ガイド・ポスト・ソリューションズ社
スポーツ&エンタテインメント担当副社長
ダン・ドノヴァン氏



② マガル・セキュリティ・システムズ社
事業開発&マーケティング担当上級副社長
ハガイ・カツツ氏



③ ボッシュ・セキュリティ・システムズ社
スタジアム&スポーツアリーナ担当
事業開発マネージャ、
アンドレ・レイタオ氏



の機会になる。しかし、他の業種とは異なり、特に注意すべきポイントが幾つかある。

スポーツイベントの国際性を考えると、この分野のシステム構築企業は必然的に多国籍企業になる。この分野への進出を検討するシステム構築企業は、まず国際的な事業展開を拡大しておいた方がよい。

既にこの分野に参入しているシステム構築企業は、案件ごとに確実に良い印象を残せるように、必死で努力しながら、世界的な顧客リストの拡充に努めている。

要求を満たすための資源

広い地域に及ぶネットワーク作りは、この分野に進出するための第一歩に過ぎない。この分野における機器の統合の複雑さを考えると、状況に応じて必要なものを確実に提供できる資源があるかをチェックしておくべきだ。

今年のスーパーボウルの会場になったユニバーシティ・オブ・フェニックス・スタジアムのセキュリティ・コンサルタントを務めるガイドポスト・ソリューションズ社スポーツ&エンタテインメント担当副社長ダン・ドノヴァン氏も同じ意見であり、この案件でシステム構築企業の選定に用いた基準を、次のように説明している。

「設計が完成した段階で販売会社の評価を行い、システム構築企業、販売会社向けの提案依頼書を作成して、回答を募った。



④ インディゴヴィジョン社
中南米部門上級副社長
ジョセ・ロベス・マルチン氏



⑤ ダルマイヤ・エレクトロニクス社
パノラマ多焦点センサ・システム責任者
ローランド・マイヤ氏



⑥ ジョンソン・コントロールズ社
建築物効率部門アジア地域ビル先端技術サービス・マネジャ、スプラマニウム・ジーヴァ・スピア氏

ソリューションの内容、ビルセキュリティの実務経験、推奨するシステムが全体的な設計要件を満たしているかに基づいて、システム構築企業を選んだ」とドノヴァン氏は語る。

2014年にブラジルで開催されたサッカーワールドカップの統合型ビルシステムを手掛けたジョンソン・コントロールズ社は、この分野の知識が豊富だ。同社に匹敵する企業は少ない。ジョンソン・コントロールズ社建築物効率部門アジア地域ビル先端技術サービス・マネジャのスプラマニウム・ジーヴァ・スピア氏によると、同社の実績は市場で頭角を現すのに役立っているが、それは細心の注意を払って難題に対処してきた結果だ。

「構築は、注意に注意を重ねて行う必要がある。例えば、スタジアム内で火災警報器が煙を検知した時、そのアラームにより一

アジアの状況:場所により異なる要件



2007年、中国政府が「鳥の巣」の愛称で知られる北京国家体育場の保安対策のためにハネウェル・ビルディング・ソリューションズ社(HBS)と契約した時、最大の懸念は翌年のオリンピック競技大会だった。

中国で開催される初のオリンピックであり、統合が必要な様々

な種類の機器、発展途上の国内基盤を考えると、セキュリティの確保自体が大変な難事業だった。しかし、スタジアム分野に関心のあるシステム構築企業が注目すべき点は、このオリンピックで特に要求された固有の条件だ。

北京にとって大きな懸念の一つが、ひどくなる一方の大気汚染だった。オリンピックが始まるずっと前から、国際的なメディアがこの問題を再三報道し、無事に開催できるかが危ぶまれていた。政府当局としては、通常のセキュリティ対策と並行して、エコロジーと親和性のある印象作りのための具体的な取り組みが重要だった。

HBS社北京地域営業責任者ディング・ユウ氏は、「世界中から多数の選手と観光客が北京を訪れるので、スタジアムの最優先事項は安全性だった。同時に、スマートビル・ソリューションの大手供給企業であるハネウェル社の目標は、省エネ技術の導入を通じて、北京オリンピックのテーマであるグリーン・オリンピック、ハイテク・オリンピック、人民オリンピックの達成を支援することだった」と語る。



連の対応が直ちに行われる。警察に通報し、該当する場所に監視カメラの焦点を合わせ、火の勢いを弱めるため、冷暖房空調システムが直ちに切られる。一斉通知システムで観客に緊急事態を知らせ、避難指示を与えると同時に、ゲートや出入口のドアが自動的に開く」とスピア氏は語る。

イベントの保安要件の優先順位

大勢の人が集まるスポーツイベントでセキュリティ・サービスを提供する場合、目標は安全確保だけではない。観客が安心して、快適に観戦できるようにすることも重要だ。ポッシュ・セキュリティ・システムズ社スタジアム&スポーツアリーナ担当事業開発マネジャのアンドレ・レイタオ氏はこの点を強調し、積極的な事前対策だけが解決策になるという。近年、ポッシュ・セキュリティ・システムズ社のソリューションは、スペインのサッカーリーグ会場を含む、1,000以上のスタジアムで採用されている。

「基盤と先端技術の改良に努め、経験を重ねたことで、幸いにもここ数年は事件の発生件数が大幅に減少している。ほとんどのスタジアムで安全が確保されているが、リスク認識は低下しつつあり、セキュリティ上の懸念もなくなったわけではない。そのため、厳密な基準を定義し順守することが最も重要だ。国際および国内スポーツ連盟や行政機関による取り組みが絶えず行われており、今後も続くだろう」とレイタオ氏は言う。

観客に安心感を与えることは確かに重要だが、大規模なスポーツイベントの場合、セキュリティは競技場だけの問題ではない。マガル・セキュリティ・システムズ社事業開発&マーケティング担当上級副社長ハガイ・カツ氏によると、スポーツイベントの保安はスタジアムだけでなく、練習場や調整区域などの場所も対象になる。システム構築企業は、こうした区域で発生する脅威や行動、平常時の運営について知っておく必要がある。

「大規模スポーツイベントのセキュリティ戦略を立案する際には、テロ行為、群衆の整理、フーリガンや暴力行為、犯罪行動など、様々な脅威への対策が必要だ」とカツ氏は語る。

システム構築企業が直面する主な課題

ジョンソン・コントロールズ社は、2014年にブラジルで開催されたサッカーワールドカップのために、映像監視、入退管理、火災警報など、何十種類にも及ぶシステムの導入と構築を行った。最新の要件に応じて異種の機器を統合する作業は、非常に難しいが、重要だった。「アクセス能力、群衆の整理、安全性を特に重視している。

サッカーの試合中に重大事件が何回か発生したので、現在のスタジアム設計では、観客の安全確保に大きく重点が置かれるようになった。エネルギー効率と環境を持続させる設計の重要性も高まっている」とスピア氏は語る。

構築作業をさらに複雑化させる要因として、スタジアムの各部分と付帯施設の工事が必ずしも同時に終わるとは限らないことが挙げられる。メインスタジアムが余裕をもって完成しても、練習場や調整区域がぎりぎりまで完成しない場合がある。こうした時間との闘いから、システム構築企業の作業に相当なしわ寄せが生じる。

問題は技術面だけではない。この種のイベントの規模や組織に関わる当事者の多様性から、案件の完了までには様々な障害物が存在する。カツ氏は、この分野でシステム構築企業が直面する技術以外の問題について、次のように説明する。「開幕戦が近づくにつれて、地元の警察、保安部隊とレスキュー隊、政府機関などの関係先が介入し、セキュリティ対策を変更せざるをえなくなった。タイムリミット寸前の変更や適応について、予め心づもりしておく必要がある」とカツ氏は言う。

スピア氏も自社の経験を語りながら、同様な意見を述べる。「複雑な案件には関係機関が多く、多くの専門家が必要だ。情報のサイロ化を防ぐには、主な関係者や専門家に設計の段階から参加してもらうことが重要だ。例えば、物理セキュリティと論理セキュリティの両面を考慮した総合的なセキュリティ方針を決定するため、初期の段階から上級経営陣に関わってもらう必要がある」。

メーカーによる付加価値サポート

複数のメーカーがスタジアム向けの推奨製品を販売しているため、システム構築企業にとって選択の幅は広い。こうした状況から、



大規模スポーツイベントの保安は、スタジアムだけでなく、練習場や調整区域などの場所も対象になる。

販売会社各社は、適切な付加価値サービスを提供する必要に迫られている。例えば、アリコント・ヴィジョン社などは、独自のプリ/ポスト・セールス支援を通じて、代理店やシステム構築企業ができるだけ有利に商談を進められるように協力を惜しまない。

「案件の受注が決まるコンペが行われる場合、システム構築企業や代理店は、いつでもアリコント・ヴィジョン社の担当者に応援を依頼することができ、確実に良い結果が得られるよう支援している。当社と組めば、勝率が確実に上がる」とツオウ氏は言う。

同様にダルマイヤ・エレクトロニック社が強調するのは、同社の多焦点センサ先端技術だ。ベルリンのオリンピック・スタジアムや、英国リバプールのグディソンパーク・サッカースタジアムなど、幾つもの国際競技場案件を受注する上で、この先端技術が大いに役立っている。

ダルマイヤ・エレクトロニック社パノラマ多焦点センサ・システム責任者ローランド・マイヤ氏は「多焦点センサ先端技術は、スタジアムに限らず、特に商業施設と工場分野で、プランナーやシステム構築企業のビジネス機会の拡大に貢献している」と語る。

影響が予測される最新、今後のトレンド

インディゴヴィジョン社中南米部門上級副社長ジョセ・ロペス・マルチン氏は、2014年にブラジルで行われたサッカーワールドカップで同社が保安上重要な役割を担った実績から、スポーツイベントのセキュリティの経験が豊富だ。マルチン氏によると、ここ数年の大きな変化として、カメラの台数が増加し、多数のカメラを同時に管理する先端技術が必要とされている。

「例えば、8年前は1つのスタジアムを80台のカメラで監視していたが、現在では、同じ業務に400台以上ものカメラを使用する。

複数のメーカーが、スタジアム向けの推奨製品を販売しているため、システム構築企業にとって選択の幅は広い。



7 ハネウエル・ビルディング・ソリューションズ社 北京地域営業責任者 ディング・ユウ氏



8 アリコント・ヴィジョン社 アジア太平洋地域セールス担当副社長 ベッキ・ツオウ氏

生成された膨大な量のデータをモニタするには、管理室に常駐するスタッフを増員するか、注意が必要な時に知らせてくれるインテリジェントな先端技術を導入するしかない」とマルチン氏は言う。

ドノヴァン氏も同じ意見であり、スポーツイベントのセキュリティ要件については、考え方が変わりつつあると指摘する。「映像監視の要求は、年月を重ねるにつれて、事前対策的な群衆管理の観点から事件対応の観点へ、事件発生後の対応能力から個々の事件の解釈へと重点が移ってきている。あらゆるイベントを映像で捕捉するようになったからだ」。

レイタオ氏は、観客に圧迫感を与えないセキュリティ対策に、より注意が払われるようになったと付け加える。「映像カメラは、観戦の邪魔にならないように、スタジアムの反対側など、観客から見えない場所に設置されているが、それでも機能性が完全に保たれている。例えば、群衆管理に役立てるために、客席の様子を撮影し、事件が起これば証拠を収集することができる。会場運営にもより注意が払われており、画像のつなぎ合わせや、さらに高度な機能、あるいは視点を移動しながら群衆全体をリアルタイムで見ることのできるスタジアム3D映像などが使用されている」。

圧迫感のないセキュリティシステムへ

高解像度映像と、それを支える広帯域の需要は今後も続いていくが、本当の差別化要因になるのは、監視プロセスを簡易化するインテリジェントな解析システムだ。カメラの台数が増えると、観客に圧迫感を与えるのではという懸念もある。そのため、周囲の環境に溶け込み、目立たないが、人々に確かな安心感を与えるシステムが今後の潮流になるだろう。レイタオ氏の言葉を借りると、セキュリティはスポーツ観戦に干渉するのではなく、満足度を高める方向へと変わっていくべきであり、実際そうなりつつある。



WEBGATE
Premium to your HD-CCTV

HDcctv協会からHD製品に対する
リーダーシップアワードを3年連続受賞



King of Hybrid Comes...

Penta-BRIDハイビジョンDVR

高画質HDビデオ映像

8ch 240fps/16ch 480fps

ビデオ入力の自動検出

iOS&Androidアプリ対応

720p

960H

Analog

1080p

DoubleReach™



アナログもフルHDも、長距離伝送。

ハイブリッドDVR登場!

- 高画質な映像品質
- DoubleReach™技術によるフルHD映像の長距離伝送可能 (5C-FB同軸ケーブルで最長400m)
- 無料のP2P機能 - 簡単&複雑なポート転送のセットアップなしでスマートフォンからのアクセスが可能。
- フルハイビジョン映像で30fps録画可能。
- 多様な分割画面表示可能なスポット出力搭載。(1、4、8、16画面モード)



DoubleReach™



P2P (Peer-to-Peer)



WEBGATE WEBGATE 日本総販売代理店

TENPO PLANNING 株式会社 店舗プランニング

関西支店 仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 福岡営業所 技術センター

東京本社

〒151-0061 東京都渋谷区初台1-46-3 シモトビル2階
TEL:03-3378-4901 FAX:03-3378-4906 www.tenpo.co.jp

販売代理店募集中

製造元 WEBGATE

よくわかるIPネットワーク

株式会社ジャパテル 代表取締役 佐々木宏至

4年ぶりのロングバケーションで8月1日から18日まで、ひたすら緩んだ毎日を送っていました。夏の思い出、それは未来です。「未来は経過した過去の時間ではなく質の反映です」と自己弁護していますが、なかなか仕事スイッチが入らずの日々。

成長の勢いが薄れた?監視カメラ業界

最近は何とというか、監視カメラ業界にインパクトある話題が乏しいのが現状である。カメラに関しても現実にはほとんど横並び状態と思えてならない。コモディティ化が最も顕著であり、1.3Mの固定レンズタイプで50米国ドルの製品も出回っている。NVRにしても16チャンネルで150米国ドルといった状況が常態化してしまっている。使っている部品点数を見ても、最安値アンドロイド・スマホの1/5では当然の価格。発展途上国や新興国やアジアでは、同軸ベースのアナログとHD-SDIその他も30%程度あたりで市場を形成しているようである。

さらに踏み込むと、中国企業の優位性は長くは続かないと思えてならない。その理由は簡単で、数社を除いては低品質、特にメカニズム系はあり得ないレベル、販管費コストの優位性とはズバリ時間の問題。キヤノン社が発表したように、カメラの製造を100%ロボット化するための取り組みが始まっている。とにもかくにも、価格競争一本道。それでもセキュリティ監視業界が将来性のある市場と言うならば、悲しいやら情けないやらと感じるのは、筆者だけであろうか。

例外的な元気の出る?ニュース

同じカメラ業界でもGoPro社に関するニュース「GoPro's Woodman Is About to Become the Highest-Paid CEO」には驚愕と羨望を感じている。GoPro社CEOニック・ウッドマン氏は今では日本でも有名な経営者だ。

経済・金融情報の配信、通信社・放送事業を手がける米国大手総合情報サービス会社ブルームバーグ社によると、2014年の時点でウッドマン氏は米国CEOの中で最も収入が多いと言われている。さて、一体幾らと調べたら・・・ここではその金額を書かない方が賢明だろう。書いてしまうと、私だけでなく読者諸兄もしぼんでしまいそうな気がするのだ。

このカメラに使われているチップセットは、監視カメラでも高

シェアを有するアンバレラ社製だ。監視カメラ業界ではこんなサクセスストーリーは聞いたこともない。まあ、他人の芝生を羨ましがっても、どうにもならない。やはり自ら市場を作り、オンリーワンになることが王道なのだろう。

この製品は最新のGoPro HERO4 Sessionというモデルで、私はこれを買って込んで研究中である。HERO4シリーズから、メディアストリームはMPEG-2コンテナ(H.264/AAC)のUDPストリームとなっている。そして、私もコツコツと、ラズベリーパイを使用してノートランスコードでRTMPやRTSPに変換し、弊社の「どこカメ」やVMSに接続できるようにと開発している。この切磋琢磨して進めている私の作業を、人によっては遊んでいるとも言いが・・・。



どこカメ@VSS(ビデオ監視ソリューション)

監視用の本格的VMSでは勝てず、ざりとてローエンドのNVRでは役不足になるような事例が増えてきたような気がする。VMSで勝てない理由は非常に簡単で、VMSを条件とした商談がほとんど無いからだ。数百カメラの案件でも条件は録画要件だけと言うこともある。ところが、この録画要件で非常に大容量でRAID構成となると、その辺のNVRでは対応が困難になってくる。さらに、サーバそれ自体の冗長性(フェイルオーバー)となった場合、VMSで勝負できそうなのだが、現実には極めて厳しい。理由はNAS系のNVRとの勝負になるからだ。上記を整理すると下記の要件となる。

- 1) 一年以上の長期間録画
- 2) 冗長化したい。RAIDレベルでなく、サーバ単位でフェイルオーバー
- 3) テープ・デバイスに長期間(5年から10年)残したい

ローエンドのNVRでは8TBの搭載がせいぜいで、RAIDも組めない、UPSも対応できないのでこの時点で、はいサヨウナラ。

ハイエンドのNVRであればRAIDは組めるが、3)のテープ・デバイス対応は厳しくなるだろう。

一方、VMSなら全て満たすが、ほとんどのケースが価格面で脱落。NAS系NVRでは機能はともかく、ほとんどの要求をこなす。フェイルオーバーは単純に二重録画で対応可能だ。つまり、カメラから2つのストリーム別々のNASに録画するだけと言うシンプルな仕組みだ。弊社ではNAS系NVRに対しては否定的立場を取っている。その最大の理由は、ワークフロー構築のためのロジックが組み込まれていない製品が多いし、組み込む気もないのだろうと思うからだ。

そんな訳で徹底して低コストでいいとこ取りの監視用のVMSとして、Docokame@VSSを開発した次第だ。

- 1) コンセプトはシンプルさの追求で、基本的にrtspとPTZ制御だけ。JPEG/MJPEGにも対応、もちろんONVIFにも対応。
 - 2) ユニバーサル・アクセス、USBカメラ、アナログ・キャプチャカードのサポート
 - 3) H.264は当然、H.265 / VP9などをサポートするために、FFMPEGをコアエンジンとして採用
 - 4) インテリジェンス機能は高精度なVMSDをサポート
 - 5) 設定構築にはモジュラー・デザインを採用。玩具ブロックを組み立てるイメージ。
 - 6) クライアント数もサーバ数も無制限、マルチモニタも無制限。
 - 7) ブラウザベースのアクセスのサポートにより、アプリなしでAndroid/iOSをサポート
- そして最後に、
- 8) サポートOSは Server 2000/2003/2008、XP、Vista、7、8、10、Linux (Ubuntu 9, 10, 11, 12, 13, 14, Debian 6 Server, 7, openSUSE 12.1, Mint 12, CentOS 6 or higher, Red Hat Enterprise Linux 6 or higher) Mac OS X (10.6 or higher)

カメラのインテリジェント機能は全く使用しないことで、シンプルだが汎用性の高いシステムの構築を支援する。コスト面でも

Linuxのサポートによりコストを抑え、組込み用途としても利用しやすい軽量設計。テープ・デバイスのサポートも簡単にサポートできるなど、シンプルにして汎用性の高いシステムを提供する。

個別市場向けにはアプライアンスでワンストップ供給し、OEMにも対応可能としている。



今回は市場分析と未来に関するテーマで考察したいと思います。それでは皆様、GDSF JAPAN 2015でお会いしましょう。その次の機会は、昨年に引き続いてセノン社ブースに出展する、10月14日から16日まで開催のRISCON(危機管理産業展)です。こちらでも皆様のご来場をお待ちしております。



株式会社ジャバテル

www.javatel.co.jp

専門サイト nvr.jp ipcam.tv

Javatel
Video Intelligence

本社 〒530-0041 大阪市北区天神橋 2-北 1-21 八千代ビル東館 3F
TEL 06-6354-0100 FAX 06-6136-1155
支店 〒130-0011 東京都墨田区石原 1-41-4 TKビル 3F
TEL 03-6658-8726 FAX 03-5637-7834



全ては 力を与えるため

スマートホーム市場全体に 恩恵をもたらすプラットフォーム

スマートホームのエコシステムでモノ同士の相互運用性を実現するプラットフォームが注目を集めている。ここでは、このようなプラットフォームの機能の全体像と、エコシステムを構成する他の企業との関係を読み解き、スマートホームのエコシステムが進化していく上でプラットフォームが果たす重要な役割を浮き彫りにする。

●a&s SMAhome著

Part 1 プラットフォームが できること

スマートホームの中核は接続能力だ。スマートプラグ、スマートロック、照明、IPカメラ、センサ、各種のクラウド・サービスなど、機器とサービスで構成されるエコシステムは、プラットフォームの基盤の上に成り立っている。接続を可能にするプラットフォームは、機器間の通信機能を提供するだけでなく、容易なデータ・マイニングを実現し、収益性の高いサービスの開発に貢献する。

ユーザ満足度の向上

革新的な機器が次々と市場に登場しているが、そのお蔭で生活が便利になるところか、異種プロトコル間の通信を妨げる障壁によりソリューションの導入が難しくなり、新たな問題が生じている。

スマートホーム業界で相互運用性が最大の問題になっている現在、過剰に細分化された市場の救世主になるのは、強力なプラットフォームだろう。ストリーム・テクノロジーズ社CEOニゲル・チャドウィック氏は、「プラットフォームが、消費者のスマートホーム製品の利用促進に貢献する」と言う。複数の信号伝送ルートを一つ



メーカーは、ライセンス供与されたプラットフォーム先端技術を利用すれば、苦心して新しいプラットフォームを開発する必要がなく、製品化に要する時間を短縮することができる。



のネットワーク・アクセスにまとめ、単一のインタフェイスで使用できる制御センタを実現するプラットフォーム。これにより、ユーザは相互接続された機器をふんだんに活用するスマートな生活を受け入れやすくなる。

ハードウェア供給企業の変革を加速

ハードウェアの販売だけで粗利益を増やすのは、難しくなる一方だ。ハードウェア・メーカーは、価格競争に巻き込まれないため

にも、製品の付加価値作りに努力している。そこで注目的になるのが、ソフトウェアのパワーだ。

レイリオス・テクノロジー社ゼネラル・マネジャのフローラ・ヤン氏は「機器メーカーが、自社のハードウェアとソフトウェアを統合する必要性を認識するようになった」と指摘する。例えば、IPカメラ、NAS、セットアップボックスなど、ほとんど全てのものに「ゲートウェイ」機能を持たせることができ、あらゆるホーム機器の制御センタになる製品を提供しようとする、野心的な機器メーカーは多い。このような「ゲートウェイ機器」が基盤のプラットフォームは、メーカーが夢を実現するのに役立つ。

「スマートホーム製品のメーカーの間では、プラットフォームのニーズが非常に大きい。プラットフォームが消費者市場を活性化させ、パートナー向けの貴重なサービスやアプリケーションからなる完全なエコシステムの形成を助けることになるだろう。消費者のブランドに対する忠誠心を固めるのも、プラットフォームだ」とチャドウィック氏は言う。

メーカーは、プラットフォームの開発元から供与される先端技術を利用することで、苦心して新しいプラットフォームを開発する必要がなく、製品化に要する時間を短縮することができる。機器メーカーからサービス供給企業への転換も、より迅速に実現可能だ。また、低価格のハードウェアを価値の高いサービスと共に提供することで、収益を上げることができる。チップ・メーカーも、組み込み型のプラットフォーム・モジュールを搭載したSoCを売り出しやすくなる。ハードウェア・メーカーやサービス供給企業が、こうしたソリューションを利用して、独自のサービスを簡単に開発できるからだ。

価値の高いサービスを生み出すには

プラットフォームは、万能の通訳として、様々なプロトコルを介した機器間の通信を実現する。その結果、モノ同士の相互運用性に基づく、今までにない価値が生まれる可能性がある。グリーンウェイヴ・システムズ社チーフ・サイエンティスト&先端技術エンジニアジェリストのジム・ハンタ氏は「モノがどんな情報を発しているかがわかるようになれば、ノイズではなく1つのまとまった情報源になる」と説明する。このような情報のデータベースが日々成長していくと、機器間の対話がよりスマート化する。

例えば、照明制御機器とセキュリティ用動体センサがお互いの状態を把握し、それに基づいて動作すると仮定する。動体センサが侵入者の存在を検知すると、照明制御機器もそれを認識し、



① ストリーム・テクノロジー
ズ社CEO
ニゲル・チャドウィック氏



② グリーンウェイヴ・システ
ムズ社
チーフサイエンティスト&
先端技術エバンジェリスト、
ジム・ハンタ氏



③ 台湾カラー&イメージン
グ・テクノロジー社
CEO兼特別顧問
サム・リィ氏

直ちに照明を点灯する。照明が消えている場合、動体センサは住宅に人がいないと判断し、セキュリティ・システムを起動する。さらに、事前に観察したユーザ・パターンに基づき、2台の機器が連繫して、住宅所有者が在宅しているかのように見せかけることもできる。

このようなシナリオは、プラットフォームがもたらす真の価値を物語っている。すなわち、ビッグデータ・エコノミーを利用して、複数の情報源から収集されたメッセージを分析し、機器の使われ方について、状況に即した手掛かりを示すことができる。その結果、機器メーカーやサービス供給企業は、顧客の好みや生活習慣をより的確に理解し、製品やサービスをさらに洗練させることができる。

ソノフ社マーケティング最高責任者ケヴィン・ガルトン氏は「当社のプラットフォームでは、当社のクラウド・ソフトウェアが、消費者の許可を得た上で解析データを収集し、チャンネル・パートナーに配信する。パートナー各社はこのデータを利用して、新製品や強化された製品を当社のプラットフォームを通じて提案し、配信することができる」と語る。

ソフトウェア開発企業は、有力なプラットフォームに自社開発のモジュールを統合することで収益を上げ、独自のニッチなサービスを開発することができる。台湾カラー&イメージング・テクノロジー社CEO兼特別顧問サム・リィ氏は「非常に収益性の高いアプリケーションやサービスを提供することができる。実際、当社は有力なプラットフォームのアプリケーション層でビジネス機会を掴もうとしている」と言う。

エンドユーザは、こうしたデータを参照して、住宅をより適切に管理できるようになる。センシング&コントロール・システムズ社enControlプラットフォームが提供する「消費」サービスは、参照データが実用的なアプリケーションの開発に役立っていることを示す実例だ。センシング&コントロール・システムズ社国際営

業担当部長ペドロ・エスピネル氏は「ユーザはこの機能を利用して、毎月の支出をリアルタイムで確認し、期間中の支出予測額を見ることができるので、消費習慣を調整し高額の請求を避けながら、より持続可能な生活を送れるようになる」と説明する。

ハンタ氏は、「これがプラットフォームの価値だ。様々な情報源を活用して、文脈に合った新しい関連情報を創造し、それに基づいて、節約、安全性、セキュリティ、簡便性といった形式のサービスを開発することができる」と指摘する。

Part 2 プラットフォームの 基本要素

接続の各層を通じて、モノ同士の相互運用性が実現される。プラットフォームを形作るのに欠かせないのが、サードパーティ製のサービスや製品の統合だ。

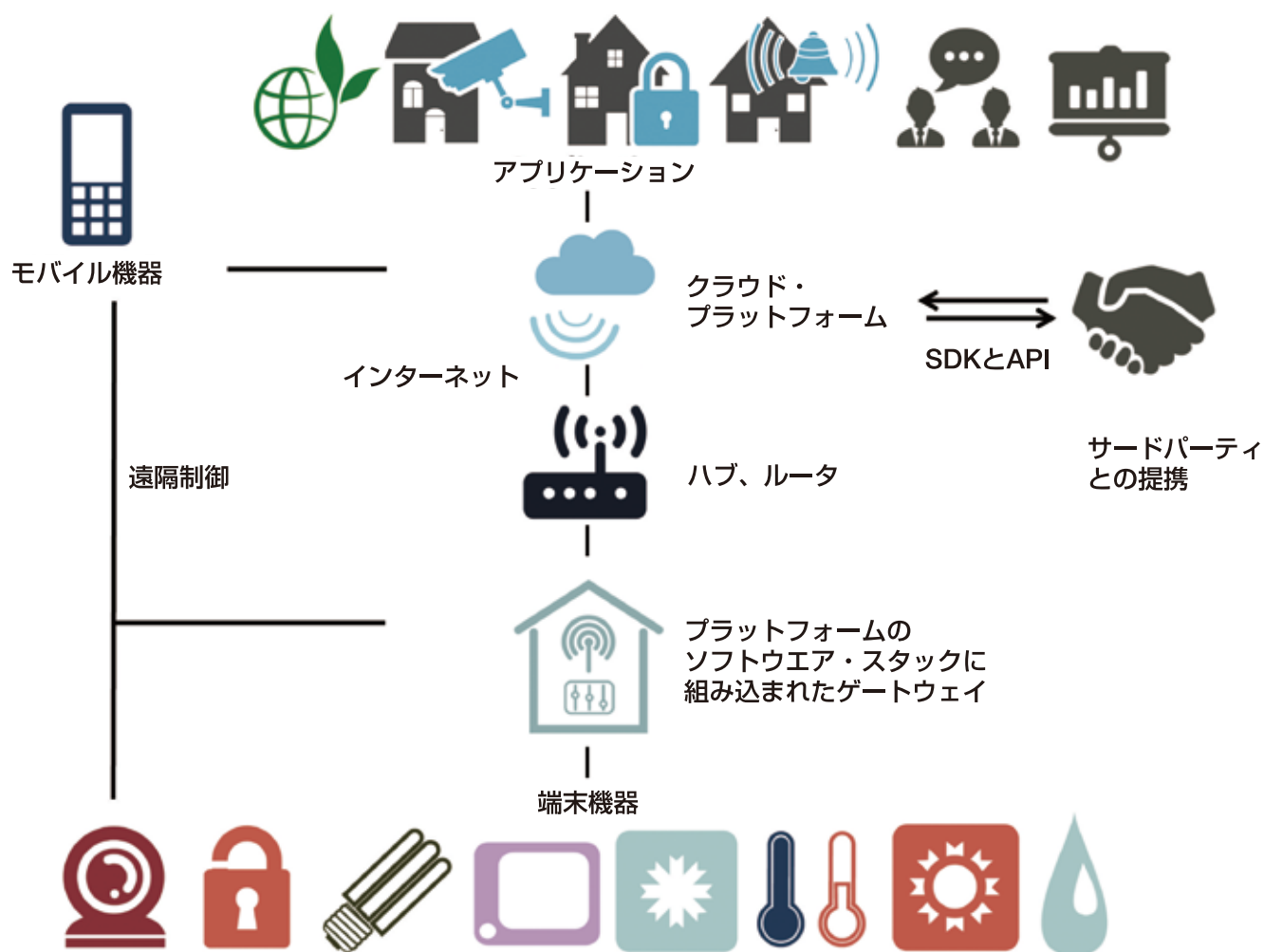
接続能力

接続能力は、複数の層から構成される。様々な通信プロトコルを採用している機器同士を統合するため、通常、ハブ、ルータ、インターネットに接続するゲートウェイ上に、モノのインターネット(IoT)接続が可能なプラットフォームを作成する。

端末機器とモバイル機器間の固有のプロトコルを使用する接続も、組み込みソフトウェア・モジュールを使用して確立することができる。一部のプラットフォーム開発企業は、SoC供給企業と協力して、機器やゲートウェイに搭載するSoCに独自のソフトウェアを組み込んでいる。

スローテック社製品マネージャのビル・ツァイ氏は、モジュール式ソリューションの利点について、「当社では、チップにソリューションを追加することで、ソフトウェアとハードウェアを統合している。当社のプラットフォームは、当社のソリューションを内蔵した機器と直接通信し、バックエンドのクラウド・アプリケーションを起動することができる」と説明する。

iDevices社とブロードコム社の協業は、モジュール式ソリューションにより接続を容易にするもう一つの例だ。iDevices社CEOクリストファ・アレン氏は「チップはブロードコム社、ソフトウェア・スタックはiDevices社が担当したブロードコム社ベースのBluetoothモジュールにより、製品にBluetoothスマート機能が搭載され、顧客はより簡単に統合を実現することができる」と語る。



サービスとしての柔軟性

クラウド・プラットフォームのサービスも、モジュール形式で提供されるケースが多い。プラットフォーム供給企業はこの種のサービスをモジュール形式で提供することで、様々な分野のニーズを満たすことができる。ツイ氏は、スローテック社Kalayプラットフォームについて、「顧客は、ホスティングするサービスを決定し、必要なモジュールをサーバに搭載する。これで、サービス供給企業として、独自のビジネスを立ち上げることが可能になる」と説明する。この種のクラウド・サービスとしては、機器管理、帯域幅管理、データの収集と分析、ストレージ、無線通信を利用したアップグレード、M2M/P2Pサーバ、アカウント管理、認証、課金システム、メディア・ストリーミングなどがある。プラットフォームの専門性や顧客固有のニーズに応じて、VSaaS (Video Surveillance as a Service：サービスとしての映像監視)、顔認識、

スマート・データ・ストリーミングなど、高度な機能を追加することもできる。

サードパーティとの協業

あらゆる分野に適したプラットフォームを自社だけで開発できる企業は存在しない。電気通信事業者向けにプラットフォームを提供しているグローバル企業CSide社は、ハードウェア・メーカーとのパートナーシップを重要視し、いつでも歓迎しているという。CSide社事業マネージャ、ミゲル・ブラガ・ダ・コスタ氏は「当社は、様々なハードウェア・メーカーと共同作業を行い、導入しやすいセンサやアクセサリを広範囲に統合している。既存のインテリジェント・プラットフォームに新しいセンサを定期的に追加することで、顧客向けに新しい機能を継続的に導入することができる」と語る。

Icontrolネットワークス社は、同社のOpenhome認定プログラ



あらゆる分野に適したプラットフォームを自社だけで開発できる企業は存在しないため、ハードウェア・メーカーやサードパーティ製ソフトウェアとのパートナーシップが歓迎される。

ムを通じて他のハードウェア専門企業と提携し、スマートホーム・ソリューションの拡充に努めている。Icontrolネットワークス社マーケティング担当副社長グレッグ・ロバーツ氏は「当社のオープン・プラットフォーム上で他の機器と相互運用できる革新的な接続機器を提供しているハードウェア・メーカーが対象だ。これにより、消費者は、完全にカスタマイズ可能なスマートホーム環境を作ることができる」と語る。

プロシスト社営業&マーケティング担当常務取締役兼執行副社長ダニエル・シェルホス氏も、業界の主力企業とのパートナーシップを強調する。「プロシスト社は、モノのインターネットのあらゆる事業に対応し、完全なソリューションを提供するため、半導体メーカー、ゲートウェイ販売企業、サービス供給企業、サードパーティ・ソフトウェア企業、スマートホーム・ソリューション供給企業、主要な構築企業など、各分野の有力企業と提携している」とシェルホス氏は言う。

一方、「メーカー」市場の潜在的な可能性を認識しているレイリオス・テクノロジー社は、オープンソース・コミュニティと提携し、イニシアティブを発揮している。レイリオス・テクノロジー社最高技術責任者レイ・ユウ氏は「当社のSDKをラスベリPi I/Pi IIIに移植した。次のステップとして、アルドゥイノ社とLinkitコミュニティへのアプローチを計画している」と語る。

コラボレーションが重要であるため、プラットフォームの開発企業は、SDKやAPIなど、統合を円滑に行うためのツールをサードパーティ向けに提供している。

例えば、Apple社ホームキット・エコシステムの一員であるiDevices社は、パートナー企業による独自のホームキット・ソリューションの開発に役立つSDKや標準アプリケーションを提供し、パー

トナーを歓迎している。プロシスト社も、統合を容易にしパートナー企業によるソリューションやアプリケーションの開発、カスタマイズ、拡張に利用できるプロシスト社 mBSスマートホーム SDKを提供している。

さらに注目に値する潮流が、オープンソース先端技術の利用だ。「ローカル・ネットワークで機器を接続するのに、OIC、Allseenなどのオープン・プラットフォーム先端技術が非常に役立つ場合がある。これらの専門性を活用し、当社独自のクラウド・サービスの開発に注力することができる」とユウ氏は言う。

Part 3 今後の潮流

新しい製品、アプリケーション、サービス、通信規格が次々と市場に出現する状況の中で、将来も陳腐化しないプラットフォームを開発するには、幾つかの条件がある。

拡張性と安定性

様々な案件で生じる多様な状況に適應するため、サービス指向のプラットフォームは、拡張可能で安定した構造でなければならない。

電気通信事業者やケーブルテレビの統括運営事業者(MSO)など、サービス供給企業によっては、加入者が数十万人に達する場合がある。プラットフォームに新しいサービスを追加してもエンドユーザに不便をかけることがないように、サーバは、水平方向にも垂直方向にも拡張性を備えていなければならない。サービス供給企業は、新規市場に事業を拡大し、加入者数が増え続けても、サービスの品質が常に一定であることが要求される。また、サーバがダウンした場合には、別のサーバが負荷を引き継ぎ、ユーザ・データを完全な状態に保つ必要がある。

財団法人資訊工業策進会スマート・ネットワークス・システム





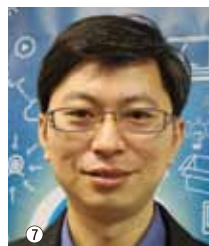
④ センシング&コントロール・システムズ社
国際営業担当部長
ペドロ・エスピネル氏



⑤ 財団法人 資訊工業 策進会スマート・ネットワーク・システム研究所
セクション・マネジャ、
チー・シアン・ホオ氏



⑥ プロシスト社
営業&マーケティング担当
常務取締役兼執行副社長
ダニエル・シェルホス氏



⑦ レイリオス・テクノロジー社
最高技術責任者
レイ・ユウ氏



⑧ iDevices社CEO
クリストファ・アレン氏



⑨ CSide社
製品マネジャ、
ミグエル・ブラガ・
ダ・コスタ氏

研究所部長ミナ・ワン氏は、「こうした機能は、サービス供給企業にとって決定的に重要であるため、将来も陳腐化しない構造を持つ、信頼性の高いプラットフォームの開発企業が頼りにされている」と結論付ける。

熾烈な競争

多くの巨大IT企業が、スマートホーム市場をターゲットとして、Allseen/AllJoyn、OIC/IoTivity、Apple/ホームキット、Google Nest/Thread、IEEE/1905.1aなど、様々な有線、無線ネットワーク接続を統合する独自のプラットフォーム規格を開発している。スマート・ネットワークス・システム研究所セクション・マネジャのチー・シアン・ホオ氏は、「ほぼ四半期ごとに、新しいプラットフォーム規格が大手ブランドから発表されている」と言う。これら的大企業は、それぞれのプラットフォーム規格をスマートホームに適用し、ハードウェア・メーカ、ソフトウェア開発企業を自社のエコシステムに誘致している。

一口に大企業と言っても、中核能力や戦略はそれぞれ異なる。消費者家電の世界で強い影響力を持つApple社は、独自に開発したホームキットで、サードパーティの取り込みを図っている。サムスン社も、SmartThings Open Cloudと主に同社製品向けのマルチチップ・モジュール・ファミリであるARTIKプラットフォームを発表した。Google NestのThreadは、よりオープンな立場を取り、大量のデータの伝送を容易にするIPv6ベースのプロトコルをサポートしている。IEEE 1905.1aは、最も頻繁に使用され、最もよく知られているワイヤレス接続であるWi-Fiなど既存のホームネットワーク先端技術とITU-T G.hnなどの規格の連携を可能にする、拡張可能なメカニズムだ。

一部のプラットフォーム開発企業の観察によると、近い将来、これらの巨大企業が市場の支配権を握るかは予測が難しい。

プロシスト社営業&マーケティング担当常務取締役兼執行副社長ダニエル・シェルホス氏は、「一般論として、Google NestとApple社ホームキットは、どちらもある程度の市場シェアを獲得するだろう。ただし、これは、両社が長期的な投資を行うかだけでなく、サービス供給企業がこれらの技術を進んでベンダ・ポータルに統合するかによって決まる」と語る。

レイリオス・テクノロジー社は、ソフトウェア供給企業の立場から、陣営に参加するかを判断する場合、オープン性が決定的な要因になると指摘する。レイリオス・テクノロジー社最高技術責任者レイ・ユウ氏は「Apple社ホームキットの閉じたシステムでは、サードパーティ製ソフトウェアが関与できる部分はほとんどない。一方、Google Nestは野心的で、エアコンなどの家庭用機器まで制御の範囲を広げている。当社は、Google Nestの進歩を追いかけたい」と語る。

ホオ氏の予測によると、IoTの世界ではプラットフォーム規格同士の「戦争」が今後も続き、それぞれの分野で優位に立った有力企業が定着していく。「当社のiFamilyプラットフォームが、特定の提携関係を強調するのではなく、『融合』に重点を置いているのは、これが理由だ」と同氏は言う。

柔軟な姿勢、ニッチ指向のサービス

このように競争は熾烈でも、プラットフォーム供給企業が力強く成長する方法がある。エコシステムや業種別市場で望まれるニッチ指向のサービスを提供し、大手企業と提携することができる。あるいは、プラットフォームに有力な製品を統合して、サービスを拡張することもできる。場合によっては、カスタマイズが必要になる。

例えば、映像処理、ストリーミング、IoT接続の専門技術を有するスローテック社の場合、IoT接続と映像関連のソリューションを

提供して、Allseenのパートナーになっている。エネルギー管理が専門のイン-シナジィ社familyは、中華電信のプラットフォームに省エネソリューションを統合することを許可している。

Icontrol社は、ユーザの満足度の向上を目的として、ネスト・ラーニング・サーモスタット、コネクテッド照明のフィリップス・フワファミリ、ロジテック・ハーモニ・リビング・ホーム社製遠隔機器のラインナップを自身のエコシステムに統合している。

ゾノフ社の場合、ソフトウェアの機能は市場による違いがないとはいえ、顧客に合わせた変更はやはり必要だ。小売店、サービス供給企業、保険会社、住宅建設会社、電力会社など、広い範囲に及び顧客を対象にしているゾノフ社は、ローカライゼーションを目的として、言語、計測単位のカスタマイズを行っている。例えば、英国向けのアプリでは、室内の温度が摂氏で表示される。

業種別市場では、プラットフォーム供給企業はサービス供給企業固有の要件についても徹底的に調べ上げる必要がある。電気通信事業者や公益企業をパートナーに持つセンシング&コントロール・システムズ社は、こうした企業の、エネルギー管理などの要求を理解し、厳しい条件が要求されるこれらの業界向けに、

拡張性の高いノーブランドのサービス、ソリューションを提供している。

スマートホーム、IoT市場の繁栄は、携帯電話の普及に支えられている。ストリーム・テクノロジズ社は、移動体通信事業者の問題を解決するIoT-Xソリューションを開発した。ストリーム・テクノロジズ社最高技術責任者アレン氏は、「移動体通信事業者の既存の顧客により高額な商品販売する機会をもたらす、完全なソリューション群の期待が高まっていると理解している」と言う。

こうした事例から、プラットフォーム供給企業が持続可能なビジネスモデルを確立するには、ニーズを探り当ててそれに応じて、接続性、VSaaS、アラーム・システム、エネルギー管理など、ニッチ指向のサービスを提供できる能力が重要であることが分かる。最も重要なのは、これらのプラットフォーム企業が、できる限り柔軟に対応しようとしている点だ。これらの企業は、他のエコシステムとの提携を躊躇しない。その一方で、抜かりなく独自のニッチ市場を維持し、ハードウェア・メーカーやサービス供給企業のために、プラットフォームの強化に努めている。



プラットフォーム供給企業一覧

企業	国	ウェブサイト	メールアドレス	ビジネスモデル	サポートするプロトコル	ターゲット顧客
CSIDE社	ポルトガル	www.cside.pt	info@cside.pt	OEM	RF-868, ZigBee, Z-Wave, Ethernet, ContactID, XMPP, GPRS	通信事業者、インターネットサービスプロバイダ、公益企業
グリーンウェーブシステムズ社	米国	www.greenwavesystems.com	na@greenwavesystems.com	自社ブランド: AXON	Z-Wave, ZigBee, 6LoWPAN, Bluetooth Smart, Wi-Fi	通信事業者、インターネットサービスプロバイダ、MSO、OTT供給企業、オンライン小売企業、実店舗小売企業、ハードウェア・メーカー、公益企業
ICONTROLネットワークス社	米国	www.icontrol.com	info@icontrol.com	自社ブランド: Icontrol One OEM/ODM	Z-Wave, Wi-Fi, ZigBee, 2G, 3G, 4G	グローバルブランド、ディーラー、システム構築企業、通信事業者、インターネットサービスプロバイダ、MSO、警報付監視、ハードウェア・メーカー、公益企業
IDEVICES社	米国	idevicesinc.com	info@idevicesinc.com	自社ブランド: iDevices	Wi-Fi, Bluetooth Smart	グローバルブランド、通信事業者、インターネットサービスプロバイダ、MSO
プロシスト社	ドイツ	www.prosyst.com	info@prosyst.com	OEM	Z-Wave, ZigBee, DECT and DECT ULE, Bluetooth and BLE, EnOcean, wM-Bus, KNX, X10, HomeMatic, BaCnet	システム構築企業、ソフトウェア企業
センシング&コントロールシステムズ社	スペイン	www.sensingcontrol.com	info@sensingcontrol.com	自社ブランド: enControl SaaS, OEM/ODM, ノーブランドの サービスプラットフォーム	LAN, Wi-Fi, UPnP, Z-Wave, ZigBee, EnOcean, wM-Bus, KNX, DECT	通信事業者、インターネットサービスプロバイダ、システム構築企業、オンライン小売企業、実店舗小売企業、公益企業、官公庁、警備会社、保険会社、付加価値再販業者
ストリーム・テクノロジズ社	英国	www.stream-technologies.com	info@stream-technologies.com	自社ブランド: IOT-X	Wi-Fi, GSM, 衛星通信, LPRN (Low Power Radio Networks)	グローバルブランド、システム構築企業、警報付監視、ハードウェア・メーカー、その他
ゾノフ社	米国	www.zonoff.com	info@zonoff.com	自社ブランド: ゾノフ社	Wi-Fi, ZigBee, Z-Wave, Ethernet, BLE, Lutron Clear Connect	グローバルブランド、輸入業者、卸売業者、代理店、ディーラー、システム構築企業、通信事業者、インターネットサービスプロバイダ、MSO、OTT供給企業、警報付監視、オンライン小売企業、実店舗小売企業
レイリオス・テクノロジズ社	台湾	www.raylios.com	marketing@raylios.com	自社ブランド: レイリオス・テクノロジズ社	Wi-Fi, その他または専用先端技術	グローバルブランド
スローテック社	台湾	www.throughtek.com	info@tutk.com	自社ブランド: Kalay OEM/ODM	ZigBee, Z-Wave, Bluetooth, Wi-Fi	グローバルブランド、チップセットベンダ、SoCベンダ
イン-シナジィ社 (情報産業台湾研究所)	台湾	www.insnergy.com	service@insnergy.com	自社ブランド: iFamily OEM/ODM	Wi-Fi, ZigBee	システム構築企業、通信事業者、インターネットサービスプロバイダ、ハードウェア・メーカー

Global Digital

Security Forum



セキュリティの
プロのための
2日間

セキュリティ産業の世界ブランドが一堂に会する

GDSF JAPAN 2015は、9月17日と18日の2日間の開催です。

GDSF JAPAN 2015は、日本国内では数少ないプロのためのイベント。

最新機器とシステム、ソリューションに触れることのできる機会です。

また、展示とセミナーでは、多岐にわたるテーマが繰り広げられます。

GDSF JAPAN 2015、今年もお見逃しなくご来場ください。

開催概要

日 程：2015年9月17日-18日

会 場：東京秋葉原UDXビル ギャラリーNEXT

構 成：展示部門・9月17日13：00～18：00、9月18日10：00～18：00

セミナー：9月17日13：00～17：30、9月18日10：00～17：30

主 催：a&s JAPAN

入場方法：事前登録制(事前登録者にはセミナーテキストをご用意します)

登録受付：2015年7月中旬から(予定)

詳細情報：詳細情報は、随時下記URLで公開いたします。

お問い合わせは下記までどうぞ

a&s JAPAN

GDSF JAPAN 2015事務局
TEL:03-6206-0448 FAX:03-6206-0452

URL: www.asj-corp.com

ASK TRADING



ブランド名	CEPSA	郵便番号	341-0018
住所	埼玉県三郷市早稲田4-10-8		
電話	048-951-5822	FAX.	048-951-5823
URL	www.cepsa.jp/		

主な展示製品名 CEPSA ネットワークカメラ/レコーダー
CEPSA HD-CVI カメラ/レコーダー

展示概要の紹介 フルHD同軸ソリューションHD-CVIシステムをご紹介します。HD-CVI/Analog両対応ハイブリッドカメラやIP/HD-CVI/Analogの3方式カメラに対応するトリプルレコーダーを展示。また12Mピクセル全方位IPカメラと、統合CMSソフトウェア「SmartPSS」も展示。

ボッシュセキュリティシステムズ



ブランド名	Bosch	郵便番号	100-0014
住所	東京都千代田区永田町2-13-1 ボッシュビル赤坂9階		
電話	03-5485-4427	FAX.	03-3507-4422
URL	www.boschsecurity-jp.net		

主な展示製品名 ●屋内対応360°/180°パノラマネットワークカメラ・FLEXIDOME IP panoramic 7000 MP ●過酷な環境に最適なPTZネットワークカメラ・MIC IP 7000 HD

展示概要の紹介 Ultra HD の解像度が必要な監視ソリューションに対応する4Kネットワークカメラ(12MP)、広いスペースでも効率的なモニタリングを可能にする360°/180°パノラマネットワークカメラ、卓越した低照度/逆光対応ネットワークカメラ、高い湿度、雨、ほこり、風、振動、塩害など厳しい環境条件にも対応可能なMIC IP 7000 HDシリーズなど、転送レートの大幅な低減を実現した最新のネットワークカメラを展示します。

株式会社バッファロー



ブランド名	TeraStation	郵便番号	460-8315
住所	愛知県名古屋市中区大須3-30-20 赤門通ビル		
電話	03-3523-3345	FAX.	03-3523-3320
URL	http://buffalo.jp/		

主な展示製品名 TeraStation

展示概要の紹介 法人様向けNASのTeraStationにハードウェアRAIDを搭載し、信頼性をさらに向上。ハードディスク交換時等のリビルド中でも安定稼働が可能になりました。RAID 6に対応し、データ保全の信頼性もアップ。また、最大容量は24TBと長期間の録画データ保存にも有効です。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社



ブランド名	Canon	郵便番号	108-8011
住所	東京都港区港南2-16-6		
電話	03-6719-9843	FAX.	03-6719-8137
URL	canon.jp/webview/		

主な展示製品名 小型フルHD VB-Sシリーズ、フルHD VB-H シリーズ

展示概要の紹介 当社は、高い光学技術と生産技術に基づいたネットワークカメラを提供するだけでなく、ライブ映像や録画映像を簡単に録画/再生できるクラウドサービス“VisualStage(ビジュアルステージ) Type-Basic”を開始しました。これにより、NVS(ネットワークビジュアルソリューション)市場向けにクラウドサービス事業を本格展開し、ネットワークカメラ事業を幅広く強化します。

株式会社フォースメディア



ブランド名	VIVOTEK, QNAP	郵便番号	141-0022
住所	東京都品川区東五反田1-13-12いちご五反田ビル4F		
電話	03-5798-5607	FAX.	03-5798-5602
URL	https://www.forcemedial.co.jp/		

主な展示製品名 VIVOTEK社ネットワークカメラ、PoEスイッチ、NVR
QNAP Turbo NAS

展示概要の紹介 VIVOTEKのネットワークカメラ、PoEスイッチ等の紹介と、QNAP Turbo NASのVMSアプリSurveillance Stationの最新版を紹介いたします。ユーザーのニーズに合わせて最適な組み合わせを提案いたします。

ハイテックインター株式会社



ブランド名		郵便番号	151-0053
住所	東京都渋谷区代々木3-28-6 いちご西参道ビル		
電話	03-5334-5260	FAX.	03-5334-3688
URL	http://www.hytec.co.jp/		

主な展示製品名 マルチデコーダシステム「MBox」

展示概要の紹介 メインで展示する「MBox」はMPEG-2/MPEG-4/H.264/MJPEG(最大1080/60p)の音声・映像ストリームに対応し、各社IPカメラ・エンコーダ用のデコーダとして使用できます。さらに、音声コネクタ等を排し低価格化を実現した「MBox Lite」や、外部オプション品などを初公開予定。

株式会社ジャバテル



ブランド名	Security Center, Omnicast	郵便番号	530-0041
住所	大阪市北区天神橋2-北1-21 八千代ビル東館3階		
電話	06-6354-0100	FAX.	06-6136-1155
URL	http://omnicast.jp		

主な展示製品名 Security Center Omnicast 5.3

展示概要の紹介 Genetec 社主要製品 Security Center Omnicast 5.3と各社 IPカメラの展示を行う。見どころとしてはつぎの通り。

- ◆GPUによる跳躍した表示能力
- ◆インシデントをシナリオ通りにエクスポート、TVドラマの様な編集
- ◆アーカイブのダイナミック転送
- ◆ビジュアルトラック
- ◆インターラクティブマップ

株式会社ジャバテル



ブランド名	どこカメ	郵便番号	530-0041
住所	大阪市北区天神橋2-北1-21 八千代ビル東館3階		
電話	06-6354-0100	FAX.	06-6136-1155
URL	http://www.docokame.com		

主な展示製品名 どこカメ メディアストリーミング・ソリューション

展示概要の紹介 高品質のライブおよびオンデマンドのストリーミングソリューションを構築、展開、および管理する組織のためのカスタマイズ可能なソフトウェアを使用して映像と音声配信の複雑さを低減します。DMS上に実装されたアプリケーションで、今すぐあなたのストリーミングニーズにご利用いただけます。

弊社の高性能メディアストリーミング・ソリューションに各社のIPカメラやエンコーダーを接続してデモをします。◆タイムシフトライブの実演 ◆WindowsとChrome OSさらにモバイルのAndroid iOS やMac とLinuxをサポート

マイルストーンシステムズ パートナー

マイルストーンシステムズ



ブランド名	milestone	郵便番号	100-6208
住所	東京都千代田区丸の内1-11-1 パシフィックセンチュリープレイス8階		
電話	03-6860-8462	FAX.	09-6860-8201
URL	milestonesys.com		

主な展示製品名 XProtect®

展示概要の紹介 マイルストーンシステムズは、世界を代表する映像管理ソフトウェア (VMS) のXProtectにより最適な映像監視ソリューションを提供しています。日本市場においても、数多くの導入実績を誇っています。また、最適な映像監視ソリューションを実現するためには、ハードウェア、アドオンソフトウェア、ネットワーク環境、映像記録など様々な関連システムとの連携が不可欠です。そこで、マイルストーンシステムズ・パートナーとともに、最適な映像監視ソリューションをご紹介します。

株式会社朝日ネット



ブランド名	AiSTRIX(アイストリクス)	郵便番号	104-0061
住所	東京都中央区銀座 4-12-15 歌舞伎座タワー 21階		
電話	03-3541-1901	FAX.	03-3541-5837
URL	http://asahi-net.jp/biz/		

主な展示製品名 AiSTRIX(アイストリクス)

展示概要の紹介 AiSTRIX (アイストリクス) はMilestone Systems社から世界ではじめてMSPP (Milestone Service Provider Partner) に認定された朝日ネットが提供するクラウド型監視カメラソリューションです。

他のクラウドサービスとは異なり、AiSTRIX専用網を使うことで、パフォーマンスを落とすことなく、安心してご利用いただけます。

AiSTRIXは、日本で唯一「XProtect」をマルチテナント化し、カメラからサーバーまでをワンストップで提供するソリューションです。

アペックス株式会社



ブランド名	APPEX	郵便番号	106-0031
住所	東京都港区西麻布3-21-20 霞町コーポ 310号		
電話	03-3478-3536	FAX.	03-3402-4838
URL	http://www.appex.co.jp/		

主な展示製品名 XProtect®

展示概要の紹介 マイルストーン社が開発した映像監視ソフトウェアXProtect®シリーズは、6つのベースソフトウェアと3つのクライアント・ソフトウェアで構成されています。

当社は、XProtect®を核にした映像監視ソリューションを提案するシステム構築企業です。そして、当社の使命は、様々な規模の様々なご要望にお応えすることです。

マイルストーンシステムズ パートナー

プロミステクノロジー株式会社



ブランド名	PROMISE	郵便番号	113-0033
住所	東京都文京区本郷3-8-5 村松ビル3階		
電話	03-6801-8064	FAX.	-
URL	http://www.promise.com/jp/		

主な展示製品名 Vess A2000 シリーズ、VTrak Ex30 RAID Subsystems シリーズ

展示概要の紹介 映像監視システムでは、信頼性の低いソリューションはデータ損失につながる。映像がストレージソリューションに録画されない、互換性のないソリューションが大きな悩みの種、貧弱で一貫性のないパフォーマンスなどの課題があります。当社は、このような課題に対して、NVRアプライアンスと監視のためのストレージ構築、ビデオの損失のゼロ化、実績あるパートナー、業界標準を超える信頼性の高い処理能力などで、ソリューションを提供しています。

東芝テリー株式会社



ブランド名	TOSHIBA	郵便番号	191-0065
住所	東京都日野市旭が丘4丁目7番地1		
電話	042-589-7777	FAX.	042-589-7389
URL	http://www.toshiba-teli.co.jp/index_j.html		

主な展示製品名 SmartClient インテリジェントビューワープラグイン(参考出展)

展示概要の紹介 SmartClient インテリジェントビューワープラグインは、弊社画像処理SDKにより高度な画像処理機能をMilestone XProtect SmartClient上で利用できるプラグイン形式のソフトウェアです。屋外の環境変動に強い画像処理アルゴリズムをSmartClientのビューワに組み込んで利用することができます。動作させる機能ごとにプラグイン形式でソフトウェアが準備されていますので、用途に応じて取捨選択をして機能を動作させることができます。

株式会社ユニテックス



ブランド名	UNITEX	郵便番号	194-0021
住所	東京都町田市市中町 2-2-4 ユニテックスビル		
電話	042-710-4630	FAX.	042-710-4660
URL	http://www.unitex.co.jp/index.shtml		

主な展示製品名 UNITEX TapeView XProtect

展示概要の紹介 防犯・監視カメラLTOテープアーカイブソリューション、UNITEX TapeView XProtectを紹介いたします。主な特長は次の通りです。

nマルチドライブ機能を搭載し、最大9.2TBのシームレスなテープアーカイブが可能。nLTOライブラリ装置を利用した場合、23巻までのテープを自動搬送しながら、最大52.9TBのアーカイブが可能。nアーカイブ中のテープ容量およびサムネイルによる録画画像データの可視化。nテープから直接画像再生可能。nバーコードによりテープのメディア管理および録画画像の管理が可能。nテープ交換やイベントアラームの発報が可能。nテープ交換中もテープ未記録映像は失われない。

MOBOTIX JAPAN



ブランド名	MOBOTIX	郵便番号	231-0011
住所	横浜市中区太田町6-85 RK Cube4F		
電話	045-227-6174	FAX.	045-227-6286
URL	www.mobotix-japan.net/		

主な展示製品名 屋内対応カメラ/屋外対応カメラ/ドアホンタイプカメラ/MXMC等

展示概要の紹介 屋内に適したローコストカメラから、耐性の高い屋外対応DayNightカメラ、サーマルカメラを中心に紹介。ハードウェア性能をご紹介するだけでなく、カメラ自身に内蔵された一歩進んだ画像解析機能(動体検知、人数カウント、動線密度分析)も合わせて紹介致します。

また、ネットワークカメラの技術を生かしたドアホンタイプのカメラに加え、新たに新登場となるMXMC (VMS)の主な機能紹介も行います。

株式会社ネットカムシステムズ



ブランド名	KxViewPro	郵便番号	101-0021
住所	東京都千代田区外神田3-10-3 プライム秋葉原ビル6階		
電話	03-5207-8591	FAX.	03-5207-8592
URL	www.netcam.co.jp		

主な展示製品名 KxViewPro4.0、SiView、KxViewRecorder

展示概要の紹介 ネットカムシステムズの新たな3つのソリューションを展示紹介致します。まず進化型VMSであるKxViewPro Ve4の新機能、次に超小型モニタリングユニットであるSiView、そして、PCレス録画ユニットであるKxViewRecorderです。 KxViewPro Ve4では、魚眼展開機能、外部機器連携機能、そしてマルチ再生機能を強化しました。SiViewは、手のひらサイズの超小型モニタリングユニットで、最大160台のカメラを登録することができます。KxViewRecorderは、PCレスで大幅な初期費用コストダウンを実現した、一体型録画装置です。ネットカムシステムズが提供する新しい3つのソリューション、会場で体験していただくことができます。

株式会社ニューテック



ブランド名	Vess A/Rシリーズ	郵便番号	105-0013
住所	東京都港区浜松町2-7-19 KDX浜松町ビル		
電話	03-5777-0852	FAX.	03-5777-0853
URL	http://www.newtech.co.jp/		

主な展示製品名 Vess A/Rシリーズ

展示概要の紹介 Vess A/Rシリーズは監視カメラ画像の録画用ストレージに最適な製品です。ソフトウェアRAIDでありながら通常モードに加え、監視カメラモードの設定が可能で複数のカメラからの画像の書き込み用にチューニングすることでマルチストリームの書き込み性能を向上させます。多くのカメラを接続しても、画像の取りこぼしがありません。またソフトウェアRAIDなので比較的安価にご提供できます。Vess AシリーズはOSとVMSを搭載することでNVRとしてそのままお使いになれます、Vess RシリーズはVess Aシリーズやその他のNVRの拡張用ストレージです。

日本ヒューレット・パッカード株式会社



ブランド名	HP Workstation Zシリーズ	郵便番号	136-8711
住所	東京都江東区大島2-2-1		
電話	03-5749-8343	FAX.	-
URL	www.hp.com/jp		

主な展示製品名 HP Workstation Z440、HP Z27s 4K プロフェッショナルモニター、Axis社 P14 4Kカメラ、Promise Technology社 Pegasus2 Thunderbolt 2 ハードウェアRAIDソリューション

展示概要の紹介 VMSや解析用途などで必須のミドルレンジワークステーションZ440とAXIS P14 4Kカメラを組み合わせて高性能&高解像度監視カメラシステムを構築。ストレージはThunderbolt2接続の高速高可用性のPromise Technology社のPegasus2で、高性能(RAID6)ストレージを手軽にThunderbolt2規格で接続。

株式会社R.O.D



ブランド名	VioStor	郵便番号	105-0014
住所	東京都港区芝3-15-3 YODAビル5階		
電話	03-5419-3354	FAX.	03-5419-3359
URL	www.rodweb.co.jp		

主な展示製品名 VioStorシリーズ

展示概要の紹介 VioStorは、4チャンネルから48チャンネルまでのカメラを登録・録画できるNVRシリーズです。対応することができるネットワーク・カメラは、国内・海外の約100メーカー、3,000機種以上。しかも、簡単な設定(かんたんセットアップ)で、すぐに使うことができます。また、前面のワンタッチ・バックアップ・ボタンを押すだけで、設定された期間のデータをUSB HDDにバックアップすることができます。操作は、USB端子にマウス(別売品)を接続することで、PCレスでモニタリングや録画再生が可能。VMobileを使ってiPhone/iPad/iPod touch/Android対応機器からVioStorにアクセスし、モニタリング、録画再生、スナップショット撮影を行うことができます。

株式会社セキュア



ブランド名	セキュア	郵便番号	163-0220
住所	東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル20階		
電話	03-6911-0660	FAX.	03-6911-0664
URL	www.secureinc.co.jp		

主な展示製品名 TYBIS IP-Matrix

展示概要の紹介 TYBIS IP-Matrixは、Microsoft社による仮想化サーバー技術とDELL社のH/Wテクノロジーを監視カメラシステム用途にパッケージングした中〜大規模向け監視カメラソリューションです。サーバーを仮想化することで、1台のサーバー内に複数のOSとVMSを実装することが可能となり、最大500台のIPカメラを安定して管理する事ができます。TYBIS IP-Matrixは、H/Wの数を劇的に減らすことが可能となるため、機材設置の省スペース化、消費電力の削減、導入および保守にかかるコスト削減に大いに貢献する画期的なソリューションです。

株式会社セキュリティデザイン



ブランド名	HIKVISION	郵便番号	107-0052
住所	東京都港区赤坂2-18-14赤坂STビル		
電話	03-6230-3021	FAX.	03-6230-3023
URL	http://www.security-d.com		

主な展示製品名 HIKVISION製IPカメラ&NVR、SD-TVIカメラ&NVR

展示概要の紹介 HIKVISION製最新MegaPixel IPカメラ及び大容量NVR群。同軸ケーブルを使用してのHD画質で電源供給も可能なワンケーブルCD-TVIソリューション

SHANY ELECTRONIC Co. LTD.,



ブランド名	SHANY	郵便番号	-
住所	4F, No.92, Section 1, Neihu Road, Neihu District, Taipei City 114,		
電話	886-2-2659-0071	FAX.	886-2-2658-4626
URL	www.shany.com/		

主な展示製品名 HD-SDIソリューション、HDアナログ・ソリューション、電動レンズ、CoC、PoC機能

展示概要の紹介 HD-SDIソリューション、HDアナログ・ソリューション、電動レンズ、CoC (Communication over Coaxial)、PoC (Power over Coaxial)機能。

SHANY(シャニー)エレクトロニクスは、20年間にわたりCCTV製品を生産している先導企業です。GDSF Japan 2015の当社ブースにご来場いただける全ての方々を、長年の顧客のように大切に歓迎いたします。当社ブースでは、最新のHD-SDIシステムとHDアナログ・ソリューション、新製品のHDカメラ、CoCとPoC機能を展示します。

ソニービジネスソリューション株式会社

ソニービジネスソリューション

ブランド名	ソニー	郵便番号	108-0075
住所	東京都港区港南1-7-1		
電話	0120-788-333	FAX.	0120-333-389
URL	www.sony.jp/snc/		

主な展示製品名 4K対応ネットワークカメラ SNC-VM772R 映像クラウドサービス Eagle Eye(参考出品) ネットワークカメララインアップ

展示概要の紹介 フルHDの4倍の解像度を持つ4K対応ネットワークカメラ。圧倒的な解像力を持つ4K対応ネットワークカメラの登場は映像セキュリティの考え方を根底から変えていきます。ソニーブースでは、この4K対応ネットワークカメラのほか、ネットワークカメララインアップや映像クラウドサービス[Eagle Eye]などを出展、最新の映像監視ソリューションをご紹介します。ぜひ、ソニーブースにお立ち寄りください。

サンシステムサプライ株式会社



ブランド名	exacqVision	郵便番号	104-0033
住所	東京都中央区新川1-25-2 新川STビル4F		
電話	03-3397-5241	FAX.	03-3399-2245
URL	www.sunss.co.jp		

主な展示製品名 exacqVision、イラストラIPカメラ、ホリスNVR

展示概要の紹介 tyco社主要製品の「exacqVision」NVRと「イラストラ」IPカメラの展示を行う。市場ニーズ急拡大のカメラだけで本格的監視可能な「イラストラエッジ」や新カメラブランド「イラストラ」の各シリーズ展示を行う。IPカメラ差別化技術であるエッジ、3Dノイズ除去、真のWDR、低照度性能などNET低帯域化や録画低容量化に寄与する先進技術をご提案します。イラストラでは超低価格「エッセンシャル」や多機能「フレックス」、高機能「プロ」、の各シリーズをご紹介します。映像と付加価値情報が得られる画像解析システムや人数カウンタカメラの展示も併せて行う。小規模店舗向けホリスNVR+エッセンシャルも発表展示を行う。

VIVOTEK INC.



ブランド名	VIVOTEK	郵便番号	-
住所	6F, No.192, Lien-Cheng Rd., Chung-Ho, New Taipei City, Taiwan		
電話	886-2-8245-5282	FAX.	886-2-8245-5532
URL	www.vivotek.com/		

主な展示製品名 VIVOTEK社ネットワークカメラ、NVR、ソフトウェアVAST

展示概要の紹介 12メガピクセルの解像度を誇るフィッシュアイ・ネットワークカメラ FE8391-Vをはじめ、新製品のアンチリガチャア(鋭角部がなく、筐体へのつり掛け不可)の3メガピクセル・フィッシュアイ・ネットワークカメラCC8370-HV、多様な監視用途に対応可能で、全てに新しく、スマートで効率的なND8422P PoE NVR、VIVOTEKワンストップ・ソリューションを実現するソフトウェアVASTなど、VIVOTEKならではの製品およびシステムを展示いたします。

9月

Adria Security Summit

会期：2015年9月8日 - 10日

会場：コングレシニ・センター

ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦
サラエヴォ市

主催：a&s Adria

URL：www.asadria.com

GDSF JAPAN 2015

会期：2015年9月17日 - 18日

会場：東京秋葉原UDXビル
ギャラリNEXT

主催：a&s JAPAN

URL：www.asj-corp.jp/gdsf2015/

ITpro EXPO 2015

会期：2015年9月30日 - 10月2日

会場：東京ビックサイト東4-6ホール

主催：日経BP社

URL：expo.nikkeibp.co.jp/itpexpo/2015/

フードセーフティジャパン 2015

会期：2015年9月30日 - 10月2日

会場：東京ビックサイト西1・2ホール

主催：食品産業センター
日本食品衛生協会

URL：www.f-sys.info/

危機管理産業展**(RISCON TOKYO)2015**

会期：2015年9月30日 - 10月2日

会場：東京ビックサイト西1・2ホール

主催：東京ビックサイト

URL：www.kikikanri.biz/

テロ対策特殊装備展(SEECAT)'15

会期：2015年9月30日 - 10月2日

会場：東京ビックサイト西4ホール

主催：東京ビックサイト

URL：www.seecat.biz/

10月

CEATEC JAPAN 2015会期：2015年10月7日 - 10月10日
10：00～17：00

会場：幕張メッセ

主催：CEATEC JAPAN 実施協議会

URL：www.ceatec.com/

**第14回 IP監視カメラシステム展示会
Avigilon社製高解像カメラシステム
セミナー**

会期：2015年10月9日(金)

13：30～17：00

会場：東京渋谷渋谷東シネタワー 13F-C

主催：KTワークショップ

URL：www.kt-workshop.co.jp/seminar/ice14.htm

**第6回 クラウドコンピューティング
EXPO【秋】**

会期：2015年10月28日 - 10月30日

会場：幕張メッセ

主催：リード エグジビション ジャパン

URL：www.cloud-japan.jp/aki/

CPSE

会期：2015年10月29日 - 11月1日

会場：深圳市 中華人民共和国
深圳国際展示会議センター

URL：www.cpse.com.cn

11月

Embedded Technology 2015

会期：2015年11月18日 - 20日

会場：パシフィコ横浜

主催：組込みシステム技術協会

URL：www.jasa.or.jp/et/about/overview.html

HOSPEx Japan 2015

会期：2015年11月25日 - 27日

会場：東京ビックサイト

主催：一般社団法人 日本医療福祉設備
協会／一般社団法人 日本能率協会

URL：http://www.jma.or.jp/hospex/

2016年 3月

SECURITY SHOW 2016会期：2016年3月8日 -
11日 10:00 - 17:00

会場：東京ビックサイト

主催：日本経済新聞社

URL：messe.nikkei.co.jp/ss/

リテールテックJAPAN

会期：2016年3月8日 -

11日 10:00 - 17:00

会場：東京ビックサイト

主催：日本経済新聞社

URL：messe.nikkei.co.jp/rt/

4月

ISC WEST 2016

会期：2016年4月6日 - 8日

会場：サンズ・エキスポ&
コンベンション・センター
ラスベガス アリゾナ州 米国

主催：Reed Exhibitions The Americas

URL：www.iscwest.com

SECUTECH INDIA 2016

会期：2016年4月14日 - 16日

会場：ボンベイ・エキジビション・センター
ムンバイ市 インド共和国

主催：Messe New Era Business

Media

URL：www.secutechindia.co.in/#

SECUTECH 2016

会期：2016年4月19日 - 21日

会場：台北南港国際展覽館
台北市 台湾主催：Messe Frankfurt New Era
Business Media

URL：www.secutech.com/16/en/

大規模案件での導入実績を誇る TYBIS IP-Matrix

入退管理と映像監視で数多くの実績を有するセキュアは、大規模案件での導入実績を誇るInnodep社製映像監視ソフトウェア(VMS)であるTYBISによるソリューションTYBIS IP-Matrixを販売開始した。Innodep社は2008年設立の韓国ソフトウェア開発企業で、上記のTYBISのほか、H.264およびH.265コーデック・ソフトウェアのInnoCodecを開発し市場に提供している。

Innodep社はまた、デル社のOEMソリューション・パートナーである。これまでにIntel Xeonプロセッサを搭載のデルPowerEdgeサーバとパワーエッジストレージ、デルネットワークスイッチとOptiPlexデスクトップPCにより監視アプライアンスを開発した実績を有する。

【TYBIS IP-Matrix】

TYBIS IP-Matrixは、デル社のハードウェア技術とマイクロソフト社のバーチャル・プラットフォームをベースにVMSであるTYBISを搭載したシステムである。主なハードウェア仕様は、インテル社XeonE5CPU/6コアを採用し、20Gbpsネットワーク、SASディスク、RAID5を搭載している。主なソフトウェア仕様は、マイクロソフト社が提供するハイパーバイザベースのx64向け仮

想化システムWindows-Hyper-V、展開が容易でコスト効果が高く、アプリケーションとユーザーを重視したエンタープライズクラスWindows Server 2012 R2 Data Centerを採用している。

【TYBIS IP-Matrixの特長】

上記のようにハイスペック環境を整えたTYBIS IP-Matrixは、ソフトウェアとハードウェアのフルパッケージ・システムと言われている。具体的には、VMS(TYBIS)とサーバ(デル社)、ストレージ(デル社)とネットワーク(マイクロソフト社)、そしてこれらを1つのラックに収めている。

1つのTYBIS IP-Matrixでは、フルHD映像の監視カメラを150台から1,000台までをサポートすることができる。

【韓国をはじめ海外でも数多い導入実績】

TYBIS IP-Matrixは、韓国国内で数多くの導入実績を誇る。しかもシステムに高い信頼性が求められる政府事業や地方自治体事業向けに、都市監視や市街地監視ソリューションを納入している。また、韓国中央銀行に300チャンネルのTYBIS IP-Matrixソリューションを導入している。

海外でも幾つもの実績をあげている。マレーシアでは、地方自治体ビルに多種多様な監視カメラ300チャンネルのソリューションを納入している。ベトナムでは、トンドックタン大学の2つの建物に導入済みで、引き続きキャンパス全域を網羅する監視カメラシステム設備の拡張が予定されている。イラクでは、国内7ヶ所に散在する物流管理センタに、映像監視と入退管理そして侵入者警報システム等で構成する統合システムを納入している。



TYBIS IP-Matrix ソフトウェア	TYBIS IP-Matrix 300		TYBIS IP-Matrix 500	
		TYBIS 300CH Vcam License (最大 600 チャンネルまで可能)		TYBIS 500CH Vcam License (最大 1,000 チャンネルまで可能)
	TYBIS Master and Recording Server license			
	Windows Hyper-V Virtual Machine Platform			
	Windows Server Data Center 2012 R2			
	Windows System Center 2012 R2			
	Microsoft CAL License			
	Virus Vaccine for Virtual Machine			
	1年間の国際保証			
TYBIS IP-Matrix サーバ	CPU	Intel Xeon E5-2630 v2 2.6GHz, 15M Cache, 7.0GT/s QPI, Turbo, HT, 6Core, 80W x 2EA 160GB (8GB RDIMM 1600 MHz x 20EA)		224GB (16GB RDIMM 1600 MHz x 14EA)
	RAM コントローラ HDD	PERC H310 Internal RAID controller(Mini)		
電源	PCIe フラッシュストレージ	300GB, 15,000 RPM, 2.5" Hot-Plug Drive, 3.5" HYB CARR x 2EA		300GB, 15,000 RPM, 2.5" Hot-Plug Drive, 3.5" HYB CARR x 4EA
		Dual Power, Hot-Plug, Redundant Power Supply(1+1), 750W		
NIC	HBA	Max x 8 PCIe Slot 6EA + x16 PCIe Slot 1(LP 3EA, FH 4EA)		
		1Gbps x 8 Port		10Gbps x 2Port
ODD	Base System	Qlogic 2562, Dual Port 8GB Optical Fiber Channel HBA x 2EA		
		PLDS DS-8D3SH 12.7 Tray DVD ROM		
主たるストレージ	HDD	4U-60Bay, 8GB Fiber CH, Dual Controller (Total Storage Max. 4TB x 180EA, 720TB)		
		4TB, 7.2K RPM, Near-Line SAS 6Gbps x 20EA (Max. 60EA, 240TB)		
拡張ストレージ	Base System	SFP Transceiver(SFP 2)		
		4U-60Bay, 6GB SAS (Max. 2 Extended Storage)		
HDD	HDD	4TB, 7.2K RPM, Near-Line SAS 6Gbps x 20EA (Max. 60EA, 240TB)		
		4TB, 7.2K RPM, Near-Line SAS 6Gbps, 3.5" Hot Plug HDD Drive		
アクセサリ (オプション)	L2 スイッチ・ラック	L2, 24x 1GbE + 2x 10GbE SFP+ Fixed Ports, stacking		
		RACK 4220B: Basic Set 42U - Display/KVM : 17" Single Rail 16-Port PS/2-USB LCD KVM - PDU : Rack PDU, Basic, Zero U, 32A, 230V x2ea		
	SAN スイッチ	Brocade 300 on-demand port 8Gb FC SAN switch (8G SFP 8ea + empty port 16ea)		

ハイテクインター、新製品情報

PoE延長装置ABiLINX 3501TおよびABiLINX 3501R



本製品はm電話線を使用しPoEを延長可能にする装置。給電側となるABiLINX 3501Tと、受電側となるABiLINX 3501Rの対向で使用する。本機器は300mまで30Wの出力でPoE延長が可能。他、通信で使用する周波数帯

域幅を狭めることで、ノイズ耐性向上を実現している。

1Pフィールドワイヤ(屋外用通信ケーブル)を使用した場合、PoE延長距離1500mでIPカメラの動作実績もあるなど既存の電話線を生かし、IPカメラ網を構築する際などのインフラに適した製品。

【主な特徴】

- 300mまでPoE+(30W)出力可能
- VDSL2プロファイル8bを採用(使用周波数帯：0～8MHz)

- 最大伝送速度：上り 70Mbps/下り 20Mbps
- 40℃～+75℃と広い動作温度
- PoE受電は1,200mまで可能(0.5mm、1ペア撚り線の電話線使用時)

【想定使用環境】

- 端末への電源配線が難しい場所
- 温度条件が厳しい場所
- 設置スペースの確保が難しい場所

【価格】

- ABiLINX 3501T：標準価格 ¥78,000(税別)/台
- ABiLINX 3501R：標準価格 ¥79,000(税別)/台

【オプション製品】

- TRG150A480-62E13 ACアダプタ：オープン価格/台
- PS-48BR1-W 産業用AC/DC電源アダプタ：標準価格 20,000円(税別)/台

製品URL：http://www.hytec.co.jp/products/poe/abilinx_3501.html

最大30モデムを収容可能な集合型アナログモデム「CN4」

本製品は、6Uのシャーシに最大15枚のモデムカード「Aster5 TWIN-CV」を装着できる。「Aster5 TWIN-CV」1枚に2台のモデムを実装するため、1シャーシあたり最大30モデムまで搭載可能。制御カード「1035 ORCHID」を搭載すれば、複数シャーシのカスケード接続も最大7台まで可能。また、別売の電源モジュールを2台実装すれば電源を冗長化でき、より安定的な運用を実現する。

【主な特長】

- 最大伝送速度28.8kbps(変調方式V.34使用時)
- 4線式(全二重/半二重)、2線式(全二重/半二重)
- 内部同期(ST2)、外部同期(ST1)、リモート(RT)
- 19インチ・ラックマウントはEIA規格/JIS規格に対応
- 電源の冗長化が可能(モジュール別売)

【主な用途】

- 気象観測、地震観測等のテレメータ装置の伝送
- 列車運行管理等、高い信頼性が求められる通信の伝送
- ITV(工場用テレビ)や監視カメラの制御伝送



【販売価格】

- CN4(シャーシ本体/ EIA規格)：標準価格 440,000円/台
- CN4(シャーシ本体/JIS規格)：標準価格 480,000円/台
- Aster5 TWIN-CV(モデムカード)：標準価格 400,000円/台
- 1035 ORCHID(制御カード)：標準価格 500,000円/台
- 電源モジュール：標準価格 300,000円/台

製品URL：<http://www.hytec.co.jp/products/modem/cn4.html>



アクシスコミュニケーションズ、新製品情報

AXIS Q1775、AXIS Q1775-E

屋内用「AXIS Q1775」および屋外対応「AXIS Q1775-E」固定ネットワークカメラは10倍光学ズーム、オートフォーカス、WDR-ダイナミックキャプチャーを装備した、ハイエンド・ネットワークカメラです。現行製品「AXIS Q1755のアップデートとなる本製品は、遠く離れた場所を幅広くモニターすると同時に、被写体を識別するために詳細映像を必要とするような監視用途に最適。

【主な特長】

- 明瞭な映像を提供するWDR-ダイナミックキャプチャー
- HDTV 1080p解像度、向上した光感度、デイ/ナイト機能
- 48 kHzの双方向音声で高品質な録音と信頼性のある音声検知。
- 40°Cの低温環境下でも安全に起動(「AXIS Q1775-E」)
- IP66およびIK10保護等級、NEMA 4Xに準拠

- 映像動体検知、いたずら警告、衝撃検知、ゲートキーパー機能
- H.264およびMotion JPEG画像をフルフレームレートで配信
- エッジストレージに対応
- AXIS Camera Application Platformをサポート
- Application Development Partner Program(ADP)によりサードパーティ製映像管理ソフトウェア(VMS)の利用が可能
- ONVIF対応



【製品価格および出荷開始時期】

製品名	希望小売価格(税別)	出荷開始時期
AXIS Q1775 固定ネットワークカメラ	207,800円	2015年9月中旬
AXIS Q1775-E 屋外対応固定ネットワークカメラ	255,800円	2015年9月中旬

HDTV PTZ ドームカメラ製品群を拡張

エントリーレベルのIPカメラ「AXIS P55 PTZドームカメラシリーズ」に、HDTV画質のエントリーモデル4機種を投入。特に分析性能を強化し、「アドバンスドゲートキーパー」は、内蔵のインテリジェント機能には音声検知と特定のエリアにおける人物や物体を検知しズームインして確認することができる。また、「アクシス カメラ アプリケーションプラットフォーム(ACAP)」は、カメラに映像分析アプリケーションを容易にダウンロードできる。

【各製品の主な特長】

- AXIS P5514 : HDTV720p 解像度、12倍光学ズーム搭載、IP51等級の防塵性能

- AXIS P5515 : 12倍光学ズーム倍率、IP51等級の防塵性能、HDTV1080p解像度
- AXIS P5514-E : IP66保護等級準拠、HDTV720p解像度、12倍光学ズーム
- AXIS P5515-E : HDTV1080p解像度、12倍光学ズーム、IP66保護等級準拠



【製品価格および出荷開始時期】

製品名	希望小売価格(税別)	出荷開始時期
AXIS P5514PTZ ドームネットワークカメラ	159,800円	2015年9月上旬
AXIS P5514-EPTZ ドームネットワークカメラ	191,800円	2015年9月上旬
AXIS P5515PTZ ドームネットワークカメラ	191,800円	2015年9月上旬
AXIS P5515-EPTZ ドームネットワークカメラ	223,800円	2015年9月上旬

新しい3つのセンサーユニットによるモジュール構成のAXIS Fネットワークカメラシリーズを拡張

【AXIS F1004 センサーユニット】

- 4つのAXIS F1004センサーユニットをAXIS F44メインユニットに接続
- HDTV720p、水平画角102°
- ピッグテイル形状のマイクロUSBコネクタ
- 壁や天井に設置する埋め込み型キットつき
- アクシス製品最小の、直径7cmの埋込式固定ドーム型カメラを実現するマウント(オプション)



【屋内用AXIS F4005および屋外対応AXIS F4005-E ドームセンサーユニット】

- 天井と壁への設置用埋め込みドームセンサーユニット
- IP66、NEMA 4X、IK09 等級準拠(AXIS F4005-E)
- HDTV 1080p、水平画角113°
- メインユニット接続用12mのケーブル

【製品価格】

製品名	希望小売価格(税別)
AXIS F1004 センサーユニット	15,800円
AXIS F4005 ドームセンサーユニット	44,600円
AXIS F4005-E ドームセンサーユニット	46,200円

店舗プランニング、CNB社製HD-TVI規格カメラとレコーダを販売開始

同社が今回発表した製品は、HD-TVIカメラ4機種(赤外線TVI小型カメラAB21-0CHR、赤外線TVIカメラAB22-7CHR、赤外線TVIマイクロドームカメラAD21-0CHR、耐衝撃赤外線TVIドームカメラAV22-1CHR)。HD-TVI DVR6機種(エントリーモデルの4/8/16チャンネルRTCシリーズとハイエンドモデルの4/8/16チャンネルRTDシリーズ)、アクセサリ7機種(アナログHD用電源重畳装置3機種とコンバータ、マルチフォーマット信号分配器、HD-TVI専用リピータ)。



■HD-TVI規格

HD-TVIとはHigh Definition Transport Video Interfaceの略で、アナログ方式でHD画質(720Pおよび1080P)の監視が可能なシステム規格。2014年秋以降、安価で高性能なチップセットが開発されたことが契機となり、市場に供給されている。

■HD-TVIシステムの特長

HD-TVIカメラは従来のアナログカメラに比べて低価格でありながら、4倍以上の高画質(200万画素)を提供し、ケーブルも同軸ケーブルで(3C-2V)約300mの伝送が可能となっている。また、HD-TVIは既存のアナログシステムの配線をそのまま利用し、高画質監視、録画、再生を実現することができる。

監視カメラの種類と特徴

	アナログ	HD-TVI	HD-SDI	IP
解像度	約48万画素	約200万画素	約200万画素	約200~約500万画素
伝送媒体	同軸ケーブル	同軸ケーブル	同軸ケーブル	LANケーブル
推奨伝送距離	200m以内(3C-2V)	300m以内(3C-2V)	100m以内(S-5CFB)	100m以内(Cat5.e)
映像遅延	なし	なし	なし	あり
コスト	安価	安価	高価	高価

■低照度技術「ダークハンター」。

CNB社製HD-TVI製品の際立った特徴として、高感度CMOSセンサを組み込んで、業界で最も先進的な低照度技術を実現した「ダークハンターシリーズ」を搭載したことが挙げられる。

暗所でも高精細なカラー映像を実現するダークハンターシリーズは、



赤外線LED無しでも、極めて低い光量を目に見えるレベルまで増幅し、低照度環境下でもHD/フルHD解像度のカラー映像を、高精細な画像で提供する。これにより低照度環境に対応したソリューションを提供することが可能になった。

また、内蔵のWDRとDNRそしてダイナミックシャッター技術により、低照度環境でも状況を識別することができる。

■カメラ製品の共通特徴

- 2メガピクセルカメラ
- 1/3インチプログレッシブスキャンCMOSセンサ
- HD-TVI(2M 1920×1080)
- スーパー IR LED
- DNR
- ダークハンター(32倍)

■エントリーモデルDVRの主な仕様

- HD-TVI /アナログ入力ハイブリッド、HDMI 1080p出力
- 検索機能：時間/カレンダー、イベント(モーション)
- ネットワーク閲覧(WEBビューワ、CMS、モバイルビューワ)
- デュアル・ストリーム
- 標準2TBのストレージ 搭載
- マルチユーザ10人同時接続

■ハイスペックモデルDVRの主な仕様

- HD-TVI /アナログ入力ハイブリッド
- 検索機能：時間/カレンダー、イベント(モーション)
- ネットワーク閲覧(WEBビューワ、CMS、モバイルビューワ)
- デュアル・ストリーム
- 標準2TBのストレージ 搭載、HDD増設可能
- HDMI×1、VGA×1、オーディオ入出力
- マルチユーザ25人同時接続
- センサ入力 /アラーム出力
- 録画モード：1080P / 720P / 960H / D1

製品URL・<https://www.tenpo.co.jp/product/hd-tvi/>

DAHUA社、屋内外対応360度/180度 パノラマ・ネットワークカメラを発売開始

ダファ・テクノロジー社が今回発売開始した製品は、天井に設置し360度の画角を持つ12メガピクセルDH-IPC-EBW81200N、同じく6メガピクセルDH-IPC-EBW8600N、そして壁面に設置し180度の画角を持つ4メガピクセルDH-IPC-EB5400EN。それぞれ高性能レンズを搭載し、1台のカメラで周辺部まで鮮明に撮影をすることができる。



DH-IPC-EBW81200NとDH-IPC-EBW8600N



DH-IPC-EB5400N

【DH-IPC-EBW81200Nの主な特徴】

- 1/2.3 12Mp Exmor CMOS Sensorを採用
- F2.2の高解像度レンズを搭載し、低照度域でカラー動画撮影が可能
- IP67,IK10採用で屋内外対応により取り付け場所を選ばない
- IR 近外線内蔵(10m)で0ルクス環境下でも撮影が可能
- Micro SDカードスロット内蔵(64GB対応)でローカル録画

- マイク内蔵で映像だけでなく音声も記録
- 補正画像は4画面、8画面など多彩なモードでの映像表示

※Secutech Excellence Award 2015 を受賞



3機種の主な仕様

	DH-IPC-EBW81200N	DH-IPC-EBW8600N	IPC-EB5400EN
搭載センサ	1/2.3インチ12MPプログレッシブ・スキャンCMOS	1/1.8インチ6MPプログレッシブ・スキャンCMOS	1/3インチ4MPプログレッシブ・スキャンCMOS
レンズ	1.57mm F2.2 ボード搭載 手動式	1.55mm F2.0 ボード搭載 手動式	1.18mm F2.0 ボード搭載 固定式
フレーム数	最大15fps@12M(4000x3000), 25/30fps@3M(2048x1536)	最大25/30fps@ 6.0M(3072x2048)	最大15fps@4M(2592x1520), 25/30fps@1080P
画像圧縮方式	H.264およびMJPEGデュアルストリーミング		
モニタリング	ウェブブラウザ, CMS(DSS/PSS), DMSS		
各種機能	デジタルWDR、デイ/ナイト(ICR)、ROI		デイ/ナイト(電子式)
	3DNR, AWB, AGC, BLC		
画面表示	独自マルチコレクトモード、パノラマ、二重パノラマ、1+3、電子PTZ、4画面	-	
IR LED 投光距離	最大IR LED投光距離10m		-
入出力	マイク内蔵		
その他	マイクロSDメモ리카ードスロット、IP67、IK10、PoE		

本製品の問い合わせ先

三星ダイヤモンド工業 Email: sales_it@mitsuboshi-dia.co.jp

ジーニック、画像鮮明化ユニットを発売

本製品は、霧・モヤ・低照度による不鮮明な動画を自動で鮮明化する、監視市場向けHDMI信号対応画像鮮明化ユニット FogFINE®(フォグファイン)「FF-100HM」。

大型施設・設備の周辺監視、道路監視、災害現場確認などの屋外監視市場では、順光、逆光、暗闇、霧、モヤの発生など、変化する気象状況や環境の中で、見たい対象物の鮮明度合い(判別のしやすさ)の向上が求められている。本製品は、独自の鮮明化アルゴリズムの搭載により、霧・モヤ・煙及び水蒸気映像で不鮮明になった対象物を鮮明に映し出すことが可能となる。これ



により、カメラや照明では補うことが困難だった映像の改善に効果を発揮する。

【設置方法と導入効果】

現在使用しているカメラシステムのモニタの前に入れるだけで、これまで不鮮明だった映像を簡単に鮮明化して見ることができる。また、1台で複数のカメラ映像をカバーできるため、監視品質の向上と大幅なコスト削減効果がある。



【販売目標および参考価格】

年間500台の販売目標で、製品価格は500,000円(税別)

ADLINK、高性能完全防水型 医療用パネルPC MLC 4-21を発売

本製品は、第4世代Intel® Core™ i7/i5プロセッサを採用し、優れた計算性能とマルチタスク機能を提供する最新の医療用パネルPC。完全なファンレス設計を採用している。また、溝も継ぎ目もない完全防水型ケースの表面は全く平らで、迅速かつ容易、効率的なクリーニングが可能となっている。さらに、本製品は患者の安全を守るIEC/EN60601-1(第4版)およびIEC/EN60601-1-2 医療用認証に適合している。

【主な特長】

■ポイント・オブ・ケア向けの特別設計

- アンチグレア・コーティングのフルHD解像度(1920x1080)対応

- 21.5インチ静電容量式タッチスクリーンを採用

- 完全防水型アルミニウム・ケース

- 強力で高度な機能

- 第4世代のIntel® Core™ i7/i5プロセッサを採用

- Wi-FiとBluetoothの両方の無線接続に対応

- 高い安全性

- 医療機器に接続可能なガルバニック絶縁COMポートやLANポートを搭載



VIVOTEK社、フィッシュアイカメラ CC8370-HVを供給開始



CC8370-HVは、アンチリガチュア(鋭角部がなく、筐体へのつり掛け不可)の3メガピクセル フィッシュアイカメラ。また本製品はWDR Pro対応、対破壊行為対応ハウジングで、留置所の安全性を高め勤務する守衛の職務を効率化する。このようにCC8370-HVは、拘置所、待機房、精神病棟、矯正施設といった高度なセキュリティが求められる

環境のために特別に設計した。

鋭角部がなく、つり掛けができないデザインにより、自傷(自殺)行為や撃ちつけ行為を防止し、生命を守ることができるカメラとなる。25度のチルト角を調整できる180度のパノラマビューを得ることができ、守衛スタッフは房内でのあらゆる状況を死角なく監視でき、内臓マイクにより、5メートル範囲の音も同時に録画が可能。

さらに、CC8370-HVは堅牢なIP-66、IK-10準拠のハウジングで守られ、液体や粉塵、破壊行為や衝撃からカメラを防御する。昼夜24時間の監視を可能とするためにWDR Pro機能を搭載し、明暗が異なる画像を統合し、リアルな現場の映像を得ることができる。

さらに、SNV(Supreme Night Visibility)により、CC8370-HVは暗い場所でも鮮明な映像の取得が可能。この夜間対応の機能により、不測の事態の発生を防ぐことができる。

CC8370-HVは、最大32チャンネルの録画が可能なVIVOTEK製無償映像管理ソフトウェア「ST7501」をサポートしている。保安担当者は、モーション検出、カメラ妨害検出といった警報設定を含めたIP監視システムを用意に構築できる。こうしたVIVOTEKのシームレスなIP監視ソリューションは、優れた品質の映像を得ることができ、効率的な保安管理を実現しアクシデントにすぐに対応することを可能にする。

製品URL : www.vivotek.com

■ 3メガピクセルH.265砲弾型 IRネットワークカメラ RH-331F2

- ・ H.265 (HEVC), H.264ハイプロファイル、メインプロファイル、ベースライン、MJPEG
- ・ 3メガピクセル高解像度25/30 fps
- ・ IVA内蔵、カメラ妨害、動体検知
- ・ 様々なプロトコルをサポート：RTSP, UPnP, HTTPS, Samba, SNMP, QoS
- ・ スマートIR内蔵
- ・ PoE : IEEE 802.3af



Afidus/台湾

Email : sales@afidus.com

■ SEDOR単機能解析サーバ DVS 800 IPS

- ・ 最大4つの解析をサポート
- ・ ダルマイヤ製IPカメラをサポート
- ・ SEDOR解析アプリケーション・アート(オプション)
- ・ SEDOR解析アプリケーション侵入検知(オプション)
- ・ SEDOR解析アプリケーション対象物計数(オプション)
- ・ SEDOR Web GUI 統合イーサネット設定の解析



ダルマイヤ・エレクトリック/ドイツ

Email : info@dallmeier.com

■ AHD 2.0 カメラ SK-P461/HA21AI

- ・ 1/2.9型ソニー製2.1メガピクセルCMOSセンサ
- ・ 1080pの30/25 fps
- ・ 3メガピクセルレンズ
- ・ データ損失を最小限に抑えた最長距離：500m
- ・ HD-SDI並みの高解像度



Huviron/韓国

Email : sales@huviron.com

■ DSCタッチパネル

- ・ 7型タッチ・スクリーン
- ・ Android OS
- ・ パネルカメラ
- ・ 6種類無線方式を内蔵(Wi-Fi、携帯、セキュリティ R/F、Z-Wave、イメージセンサ、Bluetooth)
- ・ 統合されたWi-Fiと携帯とのデュアルパス接続
- ・ DSC433 MHzの一方通行無線と互換性



Tyco Security Products/米国

Email : info@dsc.com

■ カギとシリンダ錠

- ・ 機能をそのままにドアとフレームの工場調製が可能なモジュラ寸法
- ・ キー紛失時に簡単にできるシリンダ錠交換
- ・ 様々な機能の微調整が可能なシリンダ錠の運転特性
- ・ マルチレベルの入退制御用にマスターキー入力可能なシリンダ錠
- ・ 鍵の互換性保全をアップグレードするモジュール寸法



Allegion/米国

Email : contactuk@allegion.com

■ 耐衝撃型モバイル・カメラ EMW730

- ・ 720pで驚異的なイメージ用の高い柔軟性とパフォーマンス
- ・ 1/3型ソニー製CMOSセンサで高感度を実現
- ・ 3.6 mmレンズによる驚異的な画像品質
- ・ 最大距離15mまでのIR照射で鮮明な画像
- ・ ハイコントラストでの視認を改善するデジタルWDR
- ・ 3Dノイズ・リダクションで、ぼやけた動く被写体を低照度環境下で鮮やかな画像を確保



エヴァーフォーカス・エレクトロニクス/台湾

Email : marketing@everfocus.com.tw

■ 映像による遠隔検査システム Nsys Ezcam

- ・ 超音波センサと特許取得のアルゴリズムで三次元寸法を自動測定
- ・ 最大4000倍の倍率：本物と偽造との識別が可能
- ・ 無線通信：Wi-Fiネットワークでマルチメディアデータを送受信
- ・ デュアルカメラ：様々な環境下で標準のカメラと広角カメラが使用可能
- ・ タッチスクリーン：タッチベースのインタフェース
- ・ 赤外線ランプ：夜間と昼間との切り替え可能通常のランプ



LG Nsys/韓国

Email : lena@lgnsys.com

■ アクセス・コントローラ

- ・ 完全分散処理でネットワーク障害時の動作を保証
- ・ スマート対応のWebベースのユーザ・インタフェース
- ・ ViconNetと完全に統合されたVMSで、アクセス・システムのブラウザ・インタフェースから直接、ライブ/録画映像の呼び出しが可能
- ・ 独自の内蔵されたREXで終了するアクセスコントローラ
- ・ 簡単なインストールと拡張により、標準TCP/IPネットワークに接続
- ・ 無制限のドア数、ユーザ数、ドアの時間帯



ヴィーコン・インダストリ/米国

Email : sales@vicon-security.com

共同住宅の防犯対策を拡充せよ

最近のビジネスビルでは、エントランスでの警備および有人による受付そして入室ではICカードや生体認証などでの入退管理が一般的だ。一方、大都会に数多く存在するマンションや団地などの共同住宅では、4桁の暗証番号やICカードによる入退管理がほとんどだ。しかし、暗証番号はすぐに入手することができ、ICカードの複製がそれほど困難ではない。そのためか、近年共同住宅での事件発生が多い。居住者の安全を確保するためには、建物内だけでなく敷地内への侵入防止が重要だ。もちろん防犯カメラの設置は重要だが、入退管理についても、真剣に検討する時期に来ている。

(東京 メーカー)

カメラ規格の乱立で得をするのは誰？

貴誌が頻繁に記事で取り上げている高解像度カメラだが、今ではアナログカメラとネットワークカメラという区分だけでなく、HD-xxxという規格が幾つも市場に出てきている。これには幾つか気になることがある。1つは互換性であり、もう1つは規格そのものの存続性だ。様々な規格は、既存の規格に乗り越える問題があるために提案されていると思うが、最終的に規格が増えることで得をするのは誰かということだ。一番懸念することは、導入したユーザが後日泣きを見ないで済むかということだ。

(神奈川 システム構築)

交通機関が備えるセキュリティ範囲の拡大

都会ではクルマでなく様々な交通機関を利用する人が多い。既にタクシーやバスには車内カメラを設置が普及している。また、電車でも車内監視カメラの設置が進んでいる。しかし、電車の軌道や付帯設備については、対策が進んでいない状態ではないか。トラブルを未然に防ぐためには監視カメラだけでなく、敷地内への侵入防止と侵入感知のシステムを確立しなければならない。

(埼玉 設置施工業)

「読者の声」を募集しています。

本誌では、セキュリティに関する読者の皆様のご意見やご提案を募集しています。セキュリティ機器やシステムを供給している側、セキュリティ・システムを既に導入あるいは導入を予定している側、いずれの側からの応募をお待ちしています。ただし、特定企業や団体または個人に対する誹謗中傷または批判的な内容をご遠慮ください。

一例を挙げると、導入する場合の手順はどのように進めれば良いのか。導入前の事前説明についてはどこに相談すべきなのか。メーカーなのか販売会社なのか、システム構築企業や設置施工企業なのか、それともセキュリティ・コンサルタント企業なのか。セキュリティに関する疑問や意見また提案など、セキュリティ関連であれば詳細は問いません。掲載する場合は匿名扱いとしますので、個人情報漏洩することはありません。

なお、具体的な導入相談については、導入条件や環境についてできるだけ具体的な内容をご連絡ください。ご応募をお待ちしております。



a&s JAPAN編集部

TEL : 03-6206-0448

FAX : 03-6206-0452

MAIL : info@asj-corp.j

a&S JAPAN 電子版

定期無料購読のご案内

簡単な手続きで毎号お読みいただけます



① <http://www.asj-corp.jp/> にアクセス

② このバナーをクリック



③ 登録画面の全項目にご記入

④ 「送信する」をクリック



⑤ 登録完了メールをお送りします

最新号発行のたびに
アクセスするURLをお送りします

ASJ社

最新型 3MP&5MP ミニドームシリーズ 48 モデル 新発売

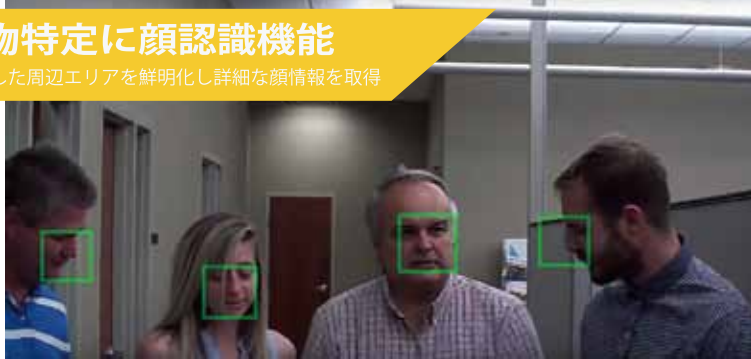
業界最高クラスの低照度性能

暗い環境でも鮮明で低帯域、低容量映像を配信



人物特定に顔認識機能

顔認識した周辺エリアを鮮明化し詳細な顔情報を取得



3MP/5MP
屋内用ミニドーム



3MP/5MP
屋外用ミニドーム



- 高精細で高品質な映像を配信
レンズ、イメージセンサ、プロセッサ、筐体全てが**最高品質**
真の **WDR** と **30FPS@3MP** または **15FPS@5MP**
電動ズームレンズ標準採用、豊富なレンズオプション
- 映像を最適化
ROI と **顔認証機能** によるストリームの最適化
顔、車番、などの特定に最適
- あらゆる環境に対応した豊富な製品ラインナップ
通常の **PoE** 供給で **-30°C** から動作可能
exacqVision Edge サポート 最大 **128GB SD** ストレージ

exacqVision
edge



exacqVision 製品, イラストラカメラ製品のお問い合わせは

exacqVision 国内総代理店 サンシステムサプライ株式会社

【本社】 〒167-0021 東京都杉並区井草 3-32-2

【営業技術部】 〒104-0033 東京都中央区新川 1-25-2 新川 ST ビル 4F

TEL : 03-3397-5241 E-mail : info@sunss.co.jp WEB : http://www.sunss.co.jp



チャンネルパートナー募集中

「映像監視関連製品」販売パートナー申込用紙
を弊社 HP「お知らせ」より DL してお申込みください。